

2026年度 関西大学の教育に関する三つの方針（大学院）

理念・目的	関西大学は、「学の実化（がくのじつげ）」を学是（理念）として掲げ、教育研究活動を展開しています。これは、大学が研学の府として学問における真理追究だけに終わるのではなく、社会のあるべき姿を提案し、その必要とするものを提供することによって「学理と実際との調和」を求める考え方です。 この「学の実化」を実現するために、不確実性の高まる社会の中で困難を克服し未来を切り拓こうとする強い意志と、多様性を尊重し新たな価値を創造することができる力とを有する人材を育成します。
-------	---

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
関西大学	博士前期課程	関西大学は、各学位プログラムにおける所定の教育課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して修士の学位を授与します。 1（知識・技能） 研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる高度な知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、高度な「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らの学びに責任を持ち、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。	関西大学は、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 講義、演習、実習等を体系的に組み合わせて、高度な知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 （2） 演習科目等において、学生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受け、高度な研究能力を獲得することができる体制を整える。 （3） 研究遂行に求められる倫理観を育む機会を提供する。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、学位論文又は特定課題についての研究の成果の審査、各種の学修行動調査と到達度調査の結果を組み合わせる。 （2） 「考動力」に集約される思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。 （3） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	関西大学は、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。
	博士後期課程	関西大学は、各学位プログラムにおける所定の教育課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して博士の学位を授与します。 1（知識・技能） 研究者もしくは高度専門職業人として自立して活動するために必要とされる卓越した知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、卓越した「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らの学びに責任を持ち、高い職業的倫理観のもと、未解決の課	関西大学は、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 講義、演習、実習等を体系的に組み合わせて、卓越した知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 （2） 演習科目等において、学生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受け、卓越した研究能力を獲得することができる体制を整える。 （3） 研究遂行に求められる倫理観を育む機会を提供する。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、学位論文の審査、各種の学修行動調査と到達度調査の結果を組み合わせる。 （2） 「考動力」に集約される思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関して	関西大学は、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程及び博士前期課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

		題に主体的に取り組むことができる。	は、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。 (3) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	
	専門職学位課程	関西大学は、各学位プログラムにおける所定の教育課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して専門職学位を授与します。 1 (知識・技能) 高度専門職業人として自立して活動するために必要とされる実務的・実践的な知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。 2 (思考力・判断力・表現力等の能力) グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、高度な「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。 3 (主体的な態度) 自らの学びに責任を持ち、高い職業的倫理観のもと、直面する課題に主体的に取り組む、高度専門職業人として先導的に活動することができる。	関西大学は、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 (1) 講義、演習、実習等を体系的に組み合わせて、実務的・実践的な知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 (2) 授業科目等において、高度な理論に基づく実践力を獲得することができる体制を整える。 (3) 高度専門職業人として求められる倫理観を育む機会を提供する。 2 学習成果の評価 (1) 知識・技能の修得に関しては、授業科目の単位修得状況、総合GPAの分析、各種の学修行動調査と到達度調査の結果を組み合わせで把握する。 (2) 「考動力」に集約される思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。 (3) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	関西大学は、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
法学研究科	前期課程	修士（法学）は、所定年限を在学し、法学研究科が設定した科目を履修して所定単位を修得し、かつ研究指導を受けて論文を提出し、その審査を経て合格した学生に対して授与されます。学位授与の適否は、具体的には、以下の知識及び能力を修得したかどうかによって判断されます。 1（知識・技能） 法学もしくは政治学を専門領域とする研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされる専門的知識（法もしくは政治の歴史的背景及び思想的背景を理解した上での現行法または現代政治に関する知識）を修得し、判例及び学説の展開または昨今の政治情勢を踏まえた各種情報を適切かつ迅速に探索する技能を修得し、かつこれらを法学または政治学の観点から総合的に分析し、柔軟に対応できる能力を修得していること。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 専門科目の受講や外国文献の講読を通じて、外国の動向も踏まえた幅広い視野から、現代社会に生じる多様な社会問題に取り組み、かつ法制度または政治制度の正確な理解に基づいて科学的に説明し、さらに規範や歴史的経験により根拠づけられた説得的な議論を展開することによって、民主的な合意形成に寄与する動力を修得していること。 3（主体的な態度） 判例や学説の展開または昨今の政治情勢と、研究者や高度専門職業人としての将来の進路を踏まえて、有意な研究テーマを選択し、未解決の課題を自ら設定するとともに、課題解決に向けて適切な研究計画を策定し、それに基づいて研究活動を行おうとする態度を修得していること。 授業や学会・研究会等での研究発表、学術誌への投稿等を通じて、学術的な対話や交流を行おうとする態度を修得していること。	法学研究科（以下、「本研究科」という）では、学位授与の方針に掲げる知識及び技能、資質及び能力ならびに態度を修得できるように、法学及び政治学に関する素養を十分に備え、社会のさまざまな分野において、それを能動的かつ有効に活用できる研究者または高度専門職業人の育成を目指しています。そこで、本研究科では、研究者育成を目的とした法政研究コース、高度専門職業人の育成を目的とした高度専門職業人養成コース、ならびに外国人留学生の専門能力の向上及び母国への学術的貢献を目的とした国際協働コースを設置し、以下の各点を踏まえて教育課程を編成しています。 1 教育内容 （1） 知識・技能 法政研究コースでは、自立して研究活動を行うために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識の養成を目的としています。学生は、個別の指導教員の下で毎学年演習を履修し、原則として同一教員の指導による一貫した少人数教育を受けることとなっています。また、専修科目を中心とする講義科目及び外国文献研究等の授業を通じて、研究者に必要な外国文献読解能力の修得も図られています。 高度専門職業人養成コースと国際協働コースでは、高度の専門性が求められる職業人の育成を目的としています。学生は、「基礎科目」「講義科目」「演習科目」を通じて、より実務に即した専門教育を受けることになっています。「基礎科目」では、法学・政治学の基礎知識やアカデミック・スキルを身につけます。「講義科目」では、歴史や思想的な背景を踏まえつつ、現行法や現代政治に関する高度な専門的知識を学び、現代社会の諸問題を多面的に分析し、議論を行います。「演習科目」では、主に「修士論文」または「特定課題研究成果報告書」を作成するための指導を受けます。 （2） 思考力・判断力・表現力等の能力 思考力・判断力・表現力等を、学生は「演習科目」の履修を通じて修得します。法政研究コースと国際協働コースでは、「修士論文」を作成するための演習指導は、演習の中で指導教員の下で行われます。高度専門職業人養成コースでは、1年次において一人ひとりの学生に対して担当教員が置かれ、2年次の専門分野の決定にかかる研究内容へのアドバイスが適宜行われます。また学生は「総合演習（テーマ）」を受講することで、問題解決型の能力を修得します。「修士論文」または「特定課題研究成果報告書」を作成するための演習指導は、2年次または3年次において、学生が希望を提出して選択した指導教員によって行われます。 （3） 主体的な態度 主体的な態度は、自ら研究計画を策定し、授業等で研究の進捗状況や成果を指導教員等に対して報告するとともに、研究科長に対して「年次研究成果	法学研究科では、社会に関する正確な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます 1 知識・技能 今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされる基本的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解する能力を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る能力を有していること。 2 思考力・判断力・表現力等の能力 異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。 3 主体的な態度 社会的な諸事象に関心を持ち、法制度および政治制度にかかる専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを修士論文または特定課題研究成果報告書として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。
	後期課程			

		報告書」を作成、提出することを通じて養われます。また、学内及び学外の研究会もしくは学会において、または学術雑誌「法学ジャーナル」等への投稿によって自己の研究内容を報告する機会の中で、研究を遂行するために必要とされる倫理観を身につけます。さらに、実務的な観点から行われる授業により、理論と実務との関係を認識させることによって、就業意欲の向上を図ります。 2 学習成果の評価 (1) 知識・技能 知識及び技能の修得に関しては、主に「基礎科目」「講義科目」において、法学・政治学に関する高度な専門的知識の理解度、論理的かつ科学的な説明を行う能力、十分に根拠づけられた説得的な議論を構築する能力、及び他者との議論の中で妥当な結論を導いてゆく能力をはかり、評価します。 (2) 思考力・判断力・表現力等の能力 思考力・判断力・表現力等の能力の修得に関しては、「演習科目」のほか、「修士論文」または「特定課題研究成果報告書」の審査を通じて評価します。「修士論文」または「特定課題研究成果報告書」は、法学または政治学に関する特定のテーマについて、総合的な視点から整理し、分析してまとめた研究成果として、または調査及び分析に基づいて政策提言を行う研究成果として十分な水準に達していることをその審査基準としています。なお「特定課題研究成果報告書」については、そうした内容を踏まえつつも、必ずしも独創性のある学術専門的な内容であることを要しませんが、高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を示す内容が求められます。 「修士論文」または「特定課題研究成果報告書」の審査にあたっては、以下の評価項目等を考慮して、総合的に判断するものとしています。 ①問題意識及び課題設定が明確に示されていること。 ②論文の構成、展開、文章表現等が適切にされていること。 ③先行研究や資料等の調査分析及び引用が適切かつ十分にされていること。 (3) 主体的な態度 主体的な態度の修得に関しては、「演習科目」での研究計画や研究報告、「修士論文」または「特定課題研究成果報告書」の審査を通じて、研究計画の策定とその実行にかかる姿勢をはかります。	
博士課程後期課程	博士（法学）は、所定年限を在学し、法学研究科が設定した科目を履修して所定単位を修得し、かつ研究指導を受けて論文を提出し、その審査を経て合格した学生に対して授与されます。学位授与の適否は、具体的には、以下の知識および能力を修得したかどうかによって判断されます。 1（知識・技能） 法学もしくは政治学を専門領域とする独立した研究者として活	法学研究科（以下、「本研究科」という）では、学位授与の方針に掲げる知識及び技能、資質及び能力ならびに態度を修得できるように、法学及び政治学に関する素養を十分に備え、社会のさまざまな分野において、それを能動的かつ有効に活用できる研究者の育成を目指しています。本研究科では法政研究コースが設置され、以下の各点を踏まえて教育課程が編成されています。 1 教育内容 (1) 知識・技能	法学研究科では、博士課程前期課程修了程度の研究力を踏まえ、社会に関する正確でより高度な専門的知識及び各種情報に根拠づけられた論理的かつ説得的な議論を通じて民主的な合意形成への貢献に意欲する人を、本研究科に適性のある学生として受け入れています。特に次の点が重視されます。 1 知識・技能

	程 動するために必要とされる専門的知識（法もしくは政治の歴史的背景および思想的背景を理解した上での現行法または現代政治に関する知識）を修得し、判例および学説の展開または昨今の政治情勢を踏まえた各種情報を適切かつ迅速に探索する技能を修得し、かつこれらを法学または政治学の観点から総合的に分析し、柔軟に対応できる能力を修得していること。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 外国文献を収集し、これを訳出する作業を通じて内容の理解に努めることで、外国の法制度または政治制度を理解し、幅広い視野に立ち、現代社会に生じる多様な社会問題に取り組み、かつ法制度または政治制度の正確な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって根拠づけられた説得的な議論を展開することによって、民主的な合意形成に寄与する考動力を修得していること。 3（主体的な態度） 具体的な法的紛争や政治状況について、法学的または政治学的な思考を通じて分析を加え、博士論文の作成にあたって未解決の課題を設定し、独創的かつ有意義な理論に基づく解決策を提案する能力を修得していること。その解決策の説得力を高めるため、研究会や学会または学術雑誌等で発表し、それらにより公正かつ柔軟な思考に基づいて問題解決を図る能力を修得していること。	博士課程後期課程では、自立して研究活動を行うために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識の養成を目的としています。学生は、それぞれ個別の指導教員の下で毎学年演習を履修し、原則として同一教員の指導による一貫した少人数教育を受けることとなっています。また、専修科目を中心とする講義科目や外国文献研究等の授業を通じて、研究者に必要なより高度な外国文献読解能力の修得も図られています。 （2） 思考力・判断力・表現力等の能力 博士課程後期課程では、博士論文を作成するための演習指導は定期的に指導教員の下で行われています。 （3） 主体的な態度 広く学内及び学外の研究会もしくは学会において、または、学術雑誌「関西大学法学論集」及び「法学ジャーナル」等への投稿を通じて研究内容を報告する機会を設け、研究を遂行するために必要とされる倫理観の育成を行っています。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能 知識及び技能の修得に関しては、博士論文による研究成果の審査を通じて評価します。博士論文が、法学または政治学の分野において独創性のある高度に学術専門的な内容を有し、学問の発展に寄与すると認められることを博士論文の審査基準としています。その審査にあたっては、以下の評価項目等を考慮して、総合的に判断するものとしています。 ①研究内容が独創性及び専門性を帯びていること。 ②学問の発展に寄与すると認められること。 ③問題意識及び課題設定が明確に示されていること。 ④論文の構成、展開、文章表現等が適切にされていること。 ⑤先行研究や資料等の調査分析及び引用が適切かつ十分にされていること。 （2） 思考力・判断力・表現力等の能力 講義科目において、具体的な問題に関する報告と討論を行う中で、論理的かつ科学的な説明を行う能力、十分に根拠づけられた説得的な議論を構築する能力及び他者との議論の中で妥当な結論を導いてゆく能力をはかります。 （3） 主体的な態度 とくに指導教員による演習科目において、自らの知識と思考を用いて具体的な問題を検討し、解決しようとする姿勢と能力をはかります。そして、博士論文の審査を通じて、より専門的な学問的能力についての評価を行っています。	今日の法制度及び政治制度を含む社会制度の歴史的 形成過程について、研究者または高度専門職業人として活動するために必要とされるより高度な専門的知識を修得していること、法的な問題及び政治的な問題について諸外国の議論を理解し、発信するために外国語能力等を有していること、他者の見解を十分に理解し、かつ自己の見解を表明し得る日本語能力を有していること。 2 思考力・判断力・表現力等の能力 異なる文化的背景や価値観を有する他者の見解の意義を認めつつ、法制度及び政治制度の正確でより高度な理解に基づいて科学的に説明し、規範や歴史的経験によって十分に根拠づけられた議論を通じて他者を説得し、合意を形成しようという姿勢を有していること。 3 主体的な態度 社会的な諸事象に関心を持ち、法制度及び政治制度にかかるより高度な専門的知識に基づいてそうした諸事象に対して自らの見解を形成し、異なる利益や価値を民主的に調整しながら問題解決に向けて行動し、かつこれを博士論文として自らの解決策を提案することで、公正かつ柔軟な思考に基づいた問題解決能力を有していること。
--	--	--	--

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
文学研究科	修士課程前期課程	文学研究科では、人文学各分野の専門教育と学際的教育を有機的に構成し、豊かな学識と研究能力を備えた研究者、及び高度で多様な知識を身につけて現代社会で活躍できる専門職業人の育成を目的としています。この目的を具現化した人材として、以下の能力を身につけた者に対して修士（文学）の学位を授与します。 1（知識・技能） 人文学各分野の研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要な専門知識・技能を身につけ、それらを活用して課題を解決していくことができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 「考動力」を発揮して、自らの課題をグローバルな視野に立って見だし、人文学の専門的知見と方法に照らして探求し、自らの知的成果を論理的に表現することができる。 3（主体的な態度） 人文学の専門家としての自覚を持ち、未解決の課題に主体的に取り組む姿勢を示すことができる。	文学研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体的な態度の修得を実現するために、以下の方針にしたがって、教育課程を体系的に編成します。 1 教育内容 （1） 講義・演習・実習等を適切に組み合わせ、高度な専門的知識・技能を体系的に修得できるように各専修の科目を配置する。 （2） 演習科目においては、指導教員から個別に研究指導を受け、人文学の専門家としての研究能力を養成する。 （3） 現代の人文学全般のなかで自己の研究課題を位置づけるために、多様な共通科目群を設置する。 （4） 学術成果のグローバルな発信力を養成するために、副専攻等の科目群を設置する。 2 学習成果の評価 （1） 教育内容の修得度は、学位論文の審査及び到達度調査等の結果を組み合わせて評価する。 （2） 研究成果は、学内・学外の学会発表あるいは学術誌への投稿・掲載によって把握する。	文学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1 学士課程で専攻した人文学各分野を中心とする専門的な知識・技能を有している。 2 学士課程における学習を通じて、グローバルで総合的な視野に立って考え、自己を表現し他者を理解するために必要なコミュニケーション能力を備えている。 3 人文学に対する強い関心と感性を持ち、主体的に探求する意欲を有している。
	博士課程後期課程	文学研究科では、人文学各分野の専門教育と学際的教育を有機的に構成し、豊かな学識と卓越した研究能力、高い職業倫理観を備えた研究者、及び高度で多様な知識を身につけて現代社会で活躍できる専門職業人の育成を目的としています。この目的を具現化した人材として、以下の能力を身につけた者に対して博士（文学）の学位を授与します。 1（知識・技能） 人文学各分野の研究者もしくは高度専門職業人として自立して活動するために必要な卓越した専門知識・技能を身につけ、それらを活用して人類の知的営みに貢献することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 「考動力」を発揮して、自らの研究をグローバルな視野のなかで的確に位置づけ、人文学の高度な知見と方法に照らして自律的に探求・深化し、成果を論理的・創造的に表現することができる。 3（主体的な態度） 高度な人文知の継承と創造の担い手としての自覚を持ち、未解決の課題に主体的に取り組み、その解決を先導する姿勢を示すことができる。	文学研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体的な態度の修得を実現するために、以下の方針にしたがって、教育課程を体系的に編成します。 1 教育内容 （1） 講義・演習・実習等を適切に組み合わせ、最先端の高度な専門的知識・技能を体系的に修得できるように各専修の科目を配置する。 （2） 演習科目においては、指導教員からの個別に入念な研究指導を受け、自立した人文学研究者としての高度な研究能力を完成する。 （3） 現代の人文学全般を俯瞰し、その担い手として自己の研究課題を開拓し意義づける姿勢を養成するために、多様な共通科目群を設置する。 （4） 学術成果のグローバルな発信力を養成するために、副専攻等の科目群を設置する。 2 学習成果の評価 （1） 教育内容の修得度は、学位論文の審査及び到達度調査等の結果を組み合わせて評価する。 （2） 研究成果は、学内・学外の学会発表あるいは学術誌への投稿・掲載、及び各年次の研究成果報告書によって把握する。	文学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1 博士前期課程で専攻した人文学各分野を中心とする高度で専門的な知識・技能を有している。 2 博士前期課程における専門研究を通じて、グローバルで総合的な視野に立って考え、自らの研究成果を的確に発信し、他者の研究を理解・評価する能力を備えている。 3 人文学に対する深い関心と自立した研究者としての自覚を持ち、主体的に課題を探求し人文知の創造に寄与しようとする意欲を有している。

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
経済学研究科	修士課程前期課程	経済学研究科では、国際的な視野を持ち、豊かな専門的学識と高度な研究能力を備えた人材の育成を教育目標として掲げています。したがって、学位の授与においては、その目標の達成が重視されます。学位授与にあたっては、必ず一定の公示期間を設けるとともに、公開による口頭試問を課すことによって、学位取得の透明性確保にも努めています。具体的には、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身に付けたものに対して修士（経済学）の学位を授与します。 1（知識・技能） 経済学の研究者もしくは高度専門職業人として活躍するために必要とされる高度な知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 国際的な視野を持ち、経済学における高い専門性を活かし、高度な「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） （1） 自らの学びに責任を持ち、経済学に関する未解決の課題に主体的に取り組むことができる。 （2） 現実に生じている国内外の諸課題に、経済学の知識を用いて主体的に取り組むことができる。	経済学研究科では、ディプロマ・ポリシーの学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 経済社会の変化とさまざまな入学志望動機に対応して、研究者養成コースと高度専門職業人養成コースの2コースを設置する。研究者養成コースは、後期課程との一貫教育を視野に入れており、自立した研究者としての教育プログラムを設置している。高度専門職業人養成コースは、エコノミスト系、パブリックポリシー系、地域・国際系、歴史・社会系、企業・ファイナンス系など幅広い科目を用意し、社会人・留学生を含む多様な学生のキャリア・プランに応じるコースを設置している。 （2） 基礎科目の履修を必修とし、コースワークを充実させる。そこでは、大学院レベルの経済学の知識の修得に加えて、資料収集、実証分析、実地調査、論文執筆といった研究方法についても指導をおこなう。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、学位論文又は特定の課題についての研究成果の審査、各種の学修行動調査と到達度調査の結果を組み合わせる。 （2） 経済学の高度な知識を用いて自立的に行動するといった「考動力」に集約されるような思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、国内外の学会への参加や発表、研究内容の革新性、さらにはグローバルな課題との関連性などといった観点から、総合的に評価する。 （3） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	経済学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程で専攻した経済学に関する専門知識を修得している。 2 グローバル化が進展する現代社会に対応する能力を備え、幅広い視野と研究の基盤となる外国語運用能力を修得していることが望ましい。 3 先端の経済学を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。
	修士課程後期課程	経済学研究科修士課程後期課程は、各学位プログラムにおける所定の教育課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して博士の学位を授与します。 1〈知識・技能〉 経済学の最先端の知識を体系的に修得し、それらを総合的に活用しながら主体的に研究活動を遂行し、卓越した成果を発表することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 国際的な視野を持ち、経済学における高い専門性を活かし、卓越した「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 経済学の研究者として、経済学や現実の社会が抱える諸問題に主	経済学研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 講義、演習、実習等を体系的に組み合わせ、卓越した知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 （2） 演習科目等において、学生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受け、卓越した研究能力を獲得することができる体制を整える。また、学会発表と研究成果の出版などの機会も積極的に提供していく。 （3） 研究遂行に求められる倫理観を育む機会を提供する。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、学位論文の審査、各種の学修行動調査と到達度調査の結果を組み合わせる。	経済学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した経済学に関する専門知識・技能を修得している。 2 グローバル化が進展する現代社会に対応する能力を備え、より多面的で幅広い視野と研究の基盤となる優れた外国語運用能力を修得している。 3 先端の経済学を主体的に学ぶ強い意欲を持ち、経済学や現実経済の課題に対して、積極的に取り組む態度を有している。

		体的・積極的ににかかわり、研究成果を広く社会に還元することができる。	(2) 経済学の高度な知識を用いて自立的に行動するといった「考動力」に集約されるような思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、国内外の学会への参加や発表、研究内容の革新性、さらにはグローバルな課題との関連性などといった観点から、総合的に評価する。 (3) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	
--	--	------------------------------------	---	--

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
商 学 研 究 科	博 士 課 程 前 期 課 程	商学研究科は、経済主体としての企業行動を分析の中心にすえ、現代ビジネスの諸問題を研究する組織であり、その研究活動と関わりながら将来を担う研究者と専門的職業人を養成する教育機関です。 博士課程前期課程には商学専攻の1専攻があり、研究者養成に対しては研究者養成・後期課程進学コースを、職業人養成に対しては高度専門職養成コースを設けています。研究者養成・後期課程進学コースには流通、ファイナンス、国際ビジネス、マネジメント、会計に関する科目を配置しており、同時に指導教員による研究指導を行います。高度専門職養成コースの科目は戦略マネジメント、流通・国際ビジネス、ファイナンス・会計の3つの系に分類されています。 博士課程前期課程では課程におかれた諸科目のうち合計32単位以上を取得し、かつ研究者養成・後期課程進学コースでは修士論文を、高度専門職養成コースでは課題研究論文を提出し、提出論文の審査・試験に合格することで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者として修士（商学）の学位を授与します。なお、学位授与にあたっては、公開審査会を課すことで、学位取得の妥当性を確保します。 1（知識・技能） 商学分野の研究者もしくは専門的職業人として活動するために必要とされる高度な知識・技能を修得し、それらを総合的に利用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） グローバルな視野に立って自ら考え、問題解決能力、リーダーシップ能力、論理的・批判的思考力を兼ね備えた高度な「考動力」を発揮して、商学分野での研究・実践活動を通じて社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らの学びに責任をもち、商学分野における未解決の課題に主体的に取り組むことができる。	商学研究科（以下、「本研究科」という）では、独創的な研究によって国際的に評価される研究者育成のための研究者養成・後期課程進学コースと、経済社会で活躍できる高度の専門的職業人を育成する高度専門職養成コースを設置しています。本研究科は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1）講義、演習、実習等を体系的に組み合わせて、商学分野に関する高度な知識・技能を効率的に修得することを目指します。 （2）大学院生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受け、高度な能力を獲得することができる体制を整えています。 ア 研究者養成・後期課程進学コース 研究者として自立して研究活動を行うために必要な知識、方法論、分析力を身につけることが可能となる科目を設置しています。専攻分野の専任教員の演習ならびに隣接分野の科目を履修することを通じて、修士論文の作成につながるようにカリキュラムを整備しています。 イ 高度専門職養成コース 履修者の研究テーマに適合する個別研究指導とともに、商学に関する基礎知識と分析手法を学ぶベーシック科目及びメソッド科目、実践的な知識とビジネス感覚を育成するための実務家講師による講義科目を設置しています。これらの履修を通じて、流通、ファイナンス、国際ビジネス、マネジメント、会計の諸分野で活躍し得る高度の専門的職業人になるために必要な能力を獲得できるようにカリキュラムを配置しています。 （3） 研究遂行に求められる倫理観を育むために、研究倫理研修（e-learning 等）の機会を提供しています。 2 学習成果の評価 （1） 商学分野に関する高度な知識・技能の修得ならびに思考力・判断力・表現力等の能力の育成に関しては、各授業科目の成績評価、指導教員による個別評価、公開審査会における学位論文の成果評価等を組み合わせて総合的に評価します。 （2） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、授業アンケートなど各種学生調査の実施・分析によって確認します。	商学研究科（以下、「本研究科」という）では、高度な知識を備えて独創的な研究を行うことができる研究者と、複雑・多様化するビジネスの諸問題を専門知識と実務能力をもって解決することができる高度の専門的職業人を育成することを目指しています。独自の入試を行うなどして、留学生に対しても広く門戸を開き、本研究科の国際化を目指しています。 博士課程前期課程では、研究者養成・後期課程進学コースと高度専門職養成コースの2つのコースを設置し、それぞれにふさわしい科目を配置しています。本研究科は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1 学士課程で専攻した商学分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程における学習を通じて、以下のような資質及び能力を身につけている。 （1）研究者養成・後期課程進学コース 商学分野の専門教育を通じて、既存の研究を積極的に吸収し、さらにはそれを発展させていこうとする意欲をもっている。博士課程後期課程に進学して、商学分野の研究者として自立することを目指している。 （2）高度専門職養成コース 実務に対応した高度な専門教育を通じて、ビジネスの諸領域における問題解決能力、柔軟な思考力、そして鋭い現実感覚を発展させることができる可能性をもっている。 3 商学の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲をもっている。
	博 士 課 程 後	商学研究科は、経済主体としての企業行動を分析の中心にすえ、現代ビジネスの諸問題を研究する組織であり、その研究活動と関わりながら将来を担う研究者と専門的職業人を養成する教育機関です。 博士課程後期課程には商学専攻の1専攻があり、流通、ファイナンス、国際ビジネス、マネジメント、会計に関する諸科目が配置されていま	商学研究科では、商学分野の研究者として自立して活動するために必要とされる卓越した知識・技能を修得し、それらを総合的に利用して独創的な研究を行うことができる研究者を育成するために、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。	商学研究科（以下、「本研究科」という）では、高度な知識を備えて独創的な研究を行うことができる研究者と、複雑・多様化するビジネスの諸問題を専門知識と実務能力をもって解決することができる高度の専門的職業人を育成することを目指しています。独自の入試を行う

	期 課 程	す。 博士課程後期課程では課程におかれた諸科目のうち合計20単位以上を取得し、かつ博士論文の審査・試験に合格することで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者として博士（商学）の学位を授与します。なお、学位授与にあたっては、必ず一定の公示期間を設け、学位取得の妥当性を確保します。 1 商学分野の研究者もしくは専門的職業人として自立して活動するために必要とされる卓越した知識・技能を修得し、それらを総合的に利用することができる。 2 グローバルな視野に立って自ら考え、問題解決能力、リーダーシップ能力、論理的・批判的思考力を兼ね備えた卓越した「考動力」を発揮して、商学分野での研究・実践活動を通じて社会に貢献することができる。 3 自らの学びに責任をもち、高い職業的倫理観のもと、商学分野における未解決の課題に主体的に取り組むことができる。	1 教育内容 （１） 講義、演習、実習等を体系的に組み合わせて、商学分野に関する卓越した知識・技能を効率的に修得することを目指す。 （２） 演習科目等において、大学院生一人ひとりが指導教員からきめ細やかな指導を受け、商学分野において秀でた研究能力を獲得することができる体制を整える。 （３） 研究遂行に求められる倫理観を育むために、研究倫理研修（e-learning等）の機会を提供する。 2 学習成果の評価 （１） 商学分野に関する卓越した知識・技能の修得ならびに思考力・判断力・表現力等の能力の育成に関しては、各授業科目の成績評価、指導教員による個別評価、一定の公示期間を設けた厳格な論文審査を通じた学位論文の成果評価等を組み合わせて総合的に評価する。 （２） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、授業アンケートなど各種学生調査の実施・分析によって確認する。	などして、留学生に対しても広く門戸を開き、本研究科の国際化を目指しています。 博士課程後期課程では、流通・ファイナンス・国際ビジネス・マネジメント・会計に関する諸科目を配置しています。本研究科は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した商学分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程及び博士前期課程における学習を通じて、問題解決能力、リーダーシップ能力、論理的・批判的思考力を兼ね備えて、商学分野での研究・実践活動を通じて社会に貢献することができる。 3 商学の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲をもっている。
--	-----------------------------	--	---	---

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
社会学研究科	博士前期課程	社会学研究科（博士課程前期課程）は、社会科学と人間科学の学際的領域における理論的・実証的研究と、これに基づく高度な専門的知識と研究能力を備えた人材および専門性を有する職業人の育成を目的とし、以下の求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけ、所定の単位を修得し、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格した者に修士の学位を授与します。 1（知識・技能） （１） 広い視野に立った学識を得て、専門分野の基礎的な研究能力、あるいは高度の専門性を要する職業等に必要な能力を発揮できる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） （１） 社会における多様なものの見方や価値観を認め、他者の意見を傾聴するだけにとどまらず、自らの考えを発信することができる。 （２） 社会の事象や人間の行動を冷静かつ的確に観察して把握した上で、考動力を基盤として課題を発見し、その解決方法を提示することができる。 3（主体的な態度） （１） 周囲の人間や社会情勢に対して知的好奇心と建設的批判精神を持つことができる。 （２） 社会の伝統を理解し尊重しつつも、新しい社会を築こうとする主体的な考動力を備えている。 （３） 身近な領域にとどまらず、より大きな社会、世界を視野にふくめてものごとを考える態度と習慣を身につけている。	社会学研究科（博士課程前期課程）は、専門の基礎と関連知識を学ぶための講義科目、専門的研究の方法を学ぶための実習科目、少人数での研究指導を受ける演習科目を配置し、専門分野についての高度な知識と研究能力の養成を図れるよう教育課程を編成します。 1 教育内容 （１） 指導教員による論文作成指導および複数の教員による研究指導体制を導入することにより、幅広い視点を備えた自立した研究姿勢の育成を図る。 （２） 演習・研究指導科目と基幹科目、応用科目、実習科目からなる自専攻科目に加えて、追加科目として他専攻科目や他研究科科目を認定することにより、さらに多様な研究に対する関心への対応を可能とする。 2 学習成果の評価 （１） 知識・技能の修得に関しては、学位論文又は特定課題についての研究の成果の審査、各種の学修行動調査と到達度調査の結果を組み合わせる把握する。 （２） 「考動力」に集約される思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。 （３） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	社会学研究科（博士課程前期課程）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を社会人、留学生を含めた幅広い層から求めます。 1 将来研究者として自立するための基礎となる知識と学力、あるいは専門性を有する職業人となるために必要な基礎的な知識と学力を十分に備えている。 2 社会と人間に関する強い問題意識と、広い視野から研究にとりくむ関心の広さならびに意欲を十分に備えている。 3 社会と人間に関する問題に目を向け、その解決に挑み、新たな価値を創出することで学術的に貢献することやその社会への還元を志している。
	博士後期課程	社会学研究科（博士課程後期課程）は、社会科学と人間科学の学際的領域における理論的・実証的研究と、これに基づく高度な専門的知識・見識を備え自立して研究活動を行える研究者および高度の専門性を有する職業人の育成を目的とし、以下の求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけ、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた後、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。 1（知識・技能） （１） 広い視野に立った学識を得て、研究者として自立できる専門分野の研究能力、あるいは高度の専門性を要する職業人として自立するに必要な能力を発揮できる。	社会学研究科（博士課程後期課程）は、各専攻の専門分野に応じて、理論と方法について多角的に学ぶための講義科目、論文指導に関する科目を配置し、高度な専門的知識・見識と自立した研究能力の養成を図れるよう教育課程を編成します。 1 教育内容 （１） 指導教員による論文作成指導および複数の教員による研究指導体制を導入することにより、幅広い視点を備えた独創的な研究能力の育成を図る。 2 学習成果の評価 （１） 知識・技能の修得に関しては、学位論文の審査、各種の学修行動調査と到達度調査の結果を組み合わせる把握する。 （２） 「考動力」に集約される思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。	社会学研究科（博士課程後期課程）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を社会人、留学生を含めた幅広い層から求めます。 1 将来研究者として自立するために必要な専門領域における高度な知識・見識と学力、あるいは高度の専門性を有する職業人となるために必要な知識と学力を十分に備えている。 2 社会科学と人間科学の学際的領域における研究の遂

	2（思考力・判断力・表現力等の能力） （1）社会における多様なものの見方や価値観を認め、他者の意見を傾聴するだけにとどまらず、自らの考えを積極的に複数の言語で発信することができる。 （2）社会の事象や人間の行動を冷静かつ的確に観察して把握した上で、考動力を基盤として課題を発見し、その解決方法を提示することができる。 3（主体的な態度） （1）周囲の人間や社会情勢に対して強い知的好奇心と建設的批判精神を持つことができる。 （2）社会の伝統を理解し尊重しつつも、新しい社会を築こうとする主体的な行動力を備えている。 （3）身近な領域にとどまらず、より大きな社会、世界を視野にふくめてものごとを考える態度と習慣を身につけている。	（3）主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	行にふさわしい広い研究関心と独創的な問題意識、ならびに柔軟な知性を兼ね備えている。 3社会と人間に関する問題に目を向け、その解決に挑み、新たな価値を創出することで学術的に貢献することやその社会への還元を志している。
--	--	---	---

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
総合情報学研究科	修士課程前期課程	総合情報学研究科では、所定の期間在学し、所定の単位を修め、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身に付け、学位論文の審査に合格した者に対して修士の学位を授与します。 1（知識・技能） 研究者もしくは高度な専門知識を有する職業人「情報スペシャリスト」として活動するために必要とされる高度な知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 「情報スペシャリスト」に求められる広い視野に立った情報に関する理論を身に付け、各専攻分野に必要とされる調査能力、分析能力、及び情報技術を駆使する技能を備え、高度な「考動力」を発揮して、社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 強い研究意欲を有し、自らの学びに責任を持ち、「情報スペシャリスト」として社会の諸領域における課題の発見・解決に向けて、主体的に取り組むことができる。	総合情報学研究科では、研究指導担当教員のもとで研究を深く追求するとともに、複数教員の指導により広い見識を培う体制を整え、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、次の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 社会情報学専攻と知識情報学専攻の専門性と共通性を考慮して、講義、演習等が体系的に編成され、高度な知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 （2） 研究指導担当教員のもとで専門分野の研究を深く追求し、「課題研究科目」を通して複数教員の指導を受けることにより広い見識を培うことを目指す。 （3） 各課題研究（プロジェクト）では、研究指導担当教員のもとで国際化を念頭においた研究が遂行され、情報化の進展に伴って重要性を増すような社会的な課題や先端技術の課題などを取り上げる。 （4） 各課題研究（プロジェクト）では、課題研究科目の内容を研究の発展や社会的変化に対応して、常に評価し、見直す。 2 学習成果の評価 （1） 学生が指導教員のもとで高度で専門的な研究を推進し、その研究成果をまとめた論文が、学位論文に値する完成度と到達度を有しているかを審査する。 （2） 修士の学位授与にあたっては、口頭試問または公聴会を通じて複数の研究者からの批評を受けることにより、公開性と透明性を確保する。	総合情報学研究科では、研究者養成ならびに高度な専門知識を有する職業人「情報スペシャリスト」の養成を目的とし、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程またはそれに準ずる課程で専攻した専門分野を中心に専門的な知識・技能を修得している。 2 豊かな学識と高度な研究能力を備えた研究者及び「情報スペシャリスト」への強い意欲を持っている。 3 本学の学是である「学の実化(学理と実際との調和)」に基づいた情報学の理論及び応用の研究の実現を目指し、その成果をもって情報社会の進展に貢献できる力を有している。
	博士課程後期課程	総合情報学研究科では、所定の期間在学し、所定の単位を修め、次の知識・技能、資質・能力及び態度を身に付け、学位論文の審査に合格した者に対して博士の学位を授与します。 1（知識・技能） 独創性のある研究を推進する「情報パイオニア」として活動するために必要とされる卓越した知識・技能を修得し、文系・理系の枠組みにとらわれず、先駆的な研究成果を創出することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 自立した研究者や高度専門家にふさわしい専門性を備え、各分野において独創的かつ有用性のある成果を創出し、レフェリー付の学術論文等で高く評価されうる能力を有する。 3（主体的な態度） 学術的価値の高い研究を推進する意欲を有し、「情報パイオニア」としての能力を発揮し、当該研究分野において新たな価値を創出することができる。	総合情報学研究科では、研究指導担当教員のもとで研究を深く追求するとともに、複数教員の指導により広い見識を培う体制を整え、学位授与の方針に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を修得できるように、次の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 総合情報学専攻の専門性を考慮して、卓越した知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 （2） 研究指導担当教員のもとで専門分野に関する研究を深く追求し、「研究領域」を通して複数教員の指導を受けることにより広い見識を培うことを目指す。 （3） 各研究領域では、研究指導担当教員のもとで独創性のある研究が遂行され、情報化の進展に伴って本質的な社会的課題や深遠な先端技術の課題などを取り上げる。 2 学習成果の評価 （1） 学生が指導教員のもとで高度で専門的な研究を推進し、その研究成果をまとめた論文が、学位論文に値する完成度と到達度を有しているかを審査する。 （2） 博士の学位授与にあたっては、口頭試問及び公聴会を通じて複数の研究者からの批評を受けることにより、公開性と透明性を確保する。	総合情報学研究科では、急激に発展拡大しつつある情報分野において独創性のある研究に挑戦する人材「情報パイオニア」の養成を目的とし、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程及び博士前期課程またはそれに準ずる課程で専攻した専門分野を中心に専門的で高度な知識・技能を修得している。 2 豊かな学識のもと、独創性のある研究に挑戦する研究者への強い意欲を持っている。 3 文系や理系という枠組みにとらわれることなく、両分野にまたがる新しい領域を切り拓き、先駆的な研究成果を創生させる研究者としての潜在能力を有している。

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
理工学研究科（理学）	博士前期課程	理工学研究科（理学）の博士課程前期課程では、システム理工学専攻の下に、「数学」「物理・応用物理学」の2分野をおいています。システム理工学専攻では、コンセプトである「しくみづくり」を背景に、先端知識や新技術の背後にある現象の本質を理解できる能力、技術的課題に対してハード面だけではなくソフト面からもアプローチできる能力、物質の機能や高度な数理モデルを、様々なシステムやデバイスに応用できる能力を涵養し、技術社会システムの先端的研究課題を理工学的に解明できる力を有し、国際的舞台で次代の社会をリードできる有能な人材の育成を目標とした教育を行っています。 各分野での研究指導を受け、所定の教育課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して、「数学」と「物理・応用物理学」分野では修士（理学）の学位を授与します。 1（知識・技能） 研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる、理工学各分野それぞれの高度な知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） （1） グローバルな学術情報の収集に欠かせない英語能力を有し、国際的な視野に立って自ら考え、発信することができる。 （2） 周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりながら問題解決のための高度な「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らの学びに責任を持ち、問題発見力と解決力をもって、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。	理工学研究科では、ディプロマポリシー（学位授与の方針）に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 講義・演習科目では、研究科内共通科目、専攻内共通科目、各分野の定める専門科目を体系的に組み合わせて、高度な知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 （2） 実習科目では、指導教員の下でゼミナールを開講すると共に、個別研究指導を行い、学生一人ひとりが入念な指導を受け、高度な研究能力を獲得することができる体制を整える。 （3） 海外を含む学外研究機関での研修を修了所要単位に含めることを可能とする派遣型実習教育科目を配置し、グローバルで幅広い研究活動を奨励する。 （4） 研究遂行に求められる倫理観や安全重視の思想を育む機会を提供する。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、学期末や平常時に行われる試験・レポートに加えて、学位論文又は特定課題についての研究の成果の審査を通じて把握する。 （2） 考察力・論理性、研究への取り組みにおける態度やプレゼンテーション能力は、ゼミナールでの発表や、学位論文または特定課題についての審査を通じて把握する。 （3） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、学会での発表状況などを含む学生調査の集計や研究発表会での口頭試問により把握する。	理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程で修得した理工学の基礎となる学力を基に、専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。
	博士後期課程	理工学研究科（理学）の博士課程後期課程では、総合理工学専攻の下に、「数学」「物理・応用物理学」の2分野をおいています。各分野での研究指導や論文指導を受け、所定の教育課程と研究業績を修めたうえで、次の知識・技能、資質・能力及び態度を身につけた者に対して、「数学」と「物理・応用物理学」分野では博士（理学）の学位を授与します。 1 研究者もしくは高度専門職業人として自立して活動するために必要とされる、理工学各分野の卓越した知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。	理工学研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 指導教員の指導の下、先端的な研究の遂行により、卓越した知識・技能を修得させることを目指す。 （2） 指導教員の下でゼミナールを開講することにより、各専門領域における最先端の知識と技術を修得できるようにする。 （3） 学術論文や学会発表など、研究成果の公表に関する指導を行う。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、学位論文の審査や研究成果の内容とその公表	理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程及び博士前期課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。

		2 グローバルな情報収集と発信能力に欠かせない十分な英語向上能力と活用能力を有し、国際的な視野に立って思考し、研究した成果を国内外に発信することができる。 3 周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、卓越した「考動力」と「指導力」を発揮して社会に貢献することができる。 4 自らの学びに責任を持ち、高い職業的倫理観のもと、優れた問題発見力と解決力をもって、未解決の課題を自ら提起し、その解決に向けて取り組むことができる。	状況により把握する。 (2) 考察力・論理性、および「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、発表した学術論文や博士論文の内容、研究発表や論文公聴会を通じて行う。 (3) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、学会や学術論文の発表状況の調査や、口頭試問等によって把握する。	3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。
--	--	--	---	---------------------------------------

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
理工学研究科（工学）	博士課程前期課程	理工学研究科(工学)の博士課程前期課程では、「システム工学」「環境都市工学」「化学生命工学」の3専攻の下に、「機械工学」「電気電子情報工学」「建築学」「都市システム工学」「エネルギー環境・化学工学」「化学・物質工学」「生命・生物工学」の7分野をおいています。各専攻では、それぞれのコンセプトである「しくみづくり」「まちづくり」「ものづくり」を背景に、先端知識や新技術の背後にある現象の本質を理解できる能力、技術的課題に対してハード面だけではなくソフト面からもアプローチできる能力、物質の機能を様々なシステムやデバイスの中で発揮させる能力を涵養し、技術社会システムの先端的研究課題を理工学的に解明できる力を有し、国際的舞台で次代の産業界をリードできる有能な人材の育成を目標とした教育を行っています。 各分野での研究指導を受け、所定の教育課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して修士（工学）の学位を授与します。 1（知識・技能） 研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる、工学各分野の高度な知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） (1) グローバルな学術情報の収集に欠かせない英語能力を有し、国際的な視野に立って自ら考え、発信することができる。 (2) 周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりながら問題解決のための高度な「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らの学びに責任を持ち、問題発見力と解決力をもって、未解決	理工学研究科では、ディプロマポリシー（学位授与の方針）に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 (1) 講義・演習科目では、研究科内共通科目、専攻内共通科目、各分野の定める専門科目を体系的に組み合わせて、高度な知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 (2) 実習科目では、指導教員の下でゼミナールを開講すると共に、個別研究指導を行い、学生一人ひとりが入念な指導を受け、高度な研究能力を獲得することができる体制を整える。 (3) 海外を含む学外研究機関での研修を修了所要単位に含めることを可能とする派遣型実習教育科目を配置し、グローバルで幅広い研究活動を奨励する。 (4) 研究遂行に求められる倫理観や安全重視の思想を育む機会を提供する。 2 学習成果の評価 (1) 知識・技能の修得に関しては、学期末や平常時に行われる試験・レポートに加えて、学位論文又は特定課題についての研究の成果の審査を通じて把握する。 (2) 考察力・論理性、研究への取り組みにおける態度やプレゼンテーション能力は、ゼミナールでの発表や、学位論文または特定課題についての審査を通じて把握する。 (3) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、学会での発表状況などを含む学生調査の集計や研究発表会での口頭試問により把握する。	理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程で修得した理工学の基礎となる学力を基に、専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

		の課題に主体的に取り組むことができる。		
博士課程後期課程		理工学研究科(工学)の博士課程後期課程では、総合理工学専攻の下に、「機械工学」「電気電子情報工学」「建築学」「都市システム工学」「エネルギー環境・化学工学」「化学・物質工学」「生命・生物工学」の7分野をおいています。各分野での研究指導や論文指導を受け、所定の教育課程と研究業績を修めたうえで、次の知識・技能、資質・能力及び態度を身につけた者に対して、博士（工学）の学位を授与します。 1 研究者もしくは高度専門職業人として自立して活動するために必要とされる、理工学各分野の卓越した知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。 2 グローバルな情報収集と発信能力に欠かせない十分な英語向上能力と活用能力を有し、国際的な視野に立って思考し、研究した成果を国内外に発信することができる。 3 周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、卓越した「考動力」と「指導力」を発揮して社会に貢献することができる。 4 自らの学びに責任を持ち、高い職業的倫理観のもと、優れた問題発見力と解決力をもって、未解決の課題を自ら提起し、その解決に向けて取り組むことができる。	理工学研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 (1) 指導教員の指導の下、先端的な研究の遂行により、卓越した知識・技能を修得させることを目指す。 (2) 指導教員の下でゼミナールを開講することにより、各専門領域における最先端の知識と技術を修得できるようにする。 (3) 学術論文や学会発表など、研究成果の公表に関する指導を行う。 2 学習成果の評価 (1) 知識・技能の修得に関しては、学位論文の審査や研究成果の内容とその公表状況により把握する。 (2) 考察力・論理性、および「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、発表した学術論文や博士論文の内容、研究発表や論文公聴会を通じて行う。 (3) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、学会や学術論文の発表状況の調査や、口頭試問等によって把握する。	理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程及び博士前期課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
外国語教育学研究科	修士課程	外国語教育学研究科では、本学の課程を修め、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して修士（外国語教育学）の学位を授与します。 1（知識・技能） 外国語教育学、異文化コミュニケーション学、通訳翻訳学の各分野で必要とされる幅広い学際的知識を習得し、これらを統合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 外国語運用能力と異文化理解力を身につけ、幅広い学際的知識を活用しながら「考動力」を発揮し、自らの研究・実践成果を広く発信して、社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らが関わる環境を主体的に観察・分析して、問題点を究明し、データに基づいた解決策を提案・実行することができる。	外国語教育学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて博士課程前期課程を編成します 1 教育内容 （1） 高度な知識・技能を効率的に修得させることを目指して、講義、演習、実習を体系的に組み合わせている。具体的には、外国語教育学、異文化コミュニケーション学、通訳翻訳学の各領域における理論的基盤を構築するための講義科目、基礎的な研究方法を体験的に学ぶ演習科目、実践の場における様々な問題を体験的に学ぶことや、専攻する言語の高度な運用能力を養成することを目指す実習科目を配置する。 （2） 高度な研究能力を獲得することができるよう、専攻言語と研究領域にあった指導が可能な教員の前期課程演習を配置し、学生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受けられる体制を整える。 （3） 学生は、研究倫理研修の受講が義務付けられるとともに、ゼミ発表などを通じて、研究遂行に求められる倫理観を育む機会が提供される。 2 学習成果の評価 （1） 学修成果は、1年制修士コースの学生においてはコンプリヘンシブ試験で、それ以外のコースの学生は修士論文・特定課題による研究報告にまとめられた研究の成果で確認する。 （2） 「考動力」に集約される思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、学生が研究発表を行う前期課程演習を中心に、学修行動調査と到達度調査を行い、学修の進捗を確認する。 （3） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計と研究への取り組みによって把握する。	外国語教育学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を博士課程前期課程に求めます。 1 高度な外国語の運用能力と異文化理解能力を備え、外国語教育学・異文化コミュニケーション学・通訳翻訳学の各領域において、学士レベルでの知識・技能の基盤を修得している。 2 現職外国語教員として、一定の社会人経験を有し、自らの実践を向上するための批判的振り返りや、現場における諸問題の発見・解決を行う意欲を持っている。 3 外国語教育学・異文化コミュニケーション学・通訳翻訳学のいずれかの領域を主体的に学んで行く強い意欲を持っている。
	博士課程後期課程	外国語教育学研究科では、本学の課程を修め、次の知識・技能、資質・能力及び態度を身につけた者に対して博士（外国語教育学）の学位を授与します。 1 外国語教育学の分野において、自立した研究者・高度専門職業人として必要とされる学際的知識・技能を深く掘り下げ、これらを統合的に活用することができる。 2 高度な外国語運用能力と異文化理解力を身につけ、学問分野での卓越した知見を活用しながら「考動力」を発揮し、研究成果を国内外に広く発信して、社会に貢献できる。 3 研究者・高度専門職業人として関わる未解決の問題を主体的に観察・分析して、データに基づいた解決策を、高い職業倫理観をもって提案・実行することができる。	外国語教育学研究科（以下、「本研究科」という）では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を修得できるように、以下の点を踏まえて博士課程後期課程を編成します。 1 教育内容 （1） 卓越した知識・技能を修得し、オリジナルな理論的・実証的研究を遂行することができるよう、テーマに合わせた個別型チュートリアル・カリキュラムを提供する。 （2） 上記チュートリアルにおいては、学生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受け、卓越した研究能力を獲得することができる体制を整える。 （3） 研究倫理研修の受講が義務付けられるとともに、上記チュートリアルはもとより、国内外での学会発表や研究誌への論文投稿過程を通じ、研究遂行に求められる倫理観を育む機会が提供される。 2 学習成果の評価	外国語教育学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を博士課程後期課程に求めます。 1 高度な外国語の運用能力と異文化理解能力を備え、外国語教育学において、修士レベルでの知識・技能の基盤を修得し、研究経験や教育現場での実践経験を有している。 2 「考動力」を発揮して研究を行い、その成果を広く発信して、国内はもとより国際的に活躍できる。 3 自らの研究に主体的に取り組んでいく強い意欲と健

			(1) 博士課程後期学生の修学経過は、2年次以降に行われる博士課程研究基礎力試験、国内外での学会発表、査読付き論文発表、博士論文公聴会で確認する。 (2) 学修成果は、博士論文にまとめられた研究の成果で、本研究科の評価基準を満たした者を合格とする。 (3) 「考動力」に集約される資質・能力の評価や主体的に学びに取り組む態度に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計や各種学生調査の集計によって把握する。	全な研究観を有する。
--	--	--	--	------------

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）		教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）		入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	
心理学研究科	博士課程前期課程	心理学	心理学研究科心理学専攻は、所定の単位を30単位以上修得し、修士論文の審査および試験に合格して本課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して「修士（心理学）」の学位を授与します。 1（知識・技能） 研究者として活動するために必要とされる認知・生理心理学、社会・産業心理学、発達・教育心理学、健康・人格心理学、計量・方法心理学に関する高度な知識・技能を修得し、それらを地域社会・家庭・学校教育・企業組織・公的サービス等の現場に還元して総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、高度な「考動力」を発揮し、実際的な問題解決を通して社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らの学びに責任を持ち、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	心理学研究科心理学専攻は、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 講義、演習、実習等を体系的に組み合わせて、認知・生理心理学、社会・産業心理学、発達・教育心理学、健康・人格心理学、計量・方法心理学の5領域に関する高度な知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 （2） 演習・研究指導科目や領域科目等を通して、学生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受けるとともに、心理学全体に目配りしつつ最先端の研究動向にすばやく対応できる高度な研究能力を獲得することができる体制を整える。 （3） リサーチスキル科目等を通して、研究遂行に求められる倫理観を育む機会を提供する。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、修士論文の審査、各種の学修行動調査と到達度の結果を組み合わせる。 （2） 「考動力」に集約される思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。 （3） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	心理学研究科心理学専攻では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、心理学を学んだ者を中心に、学外からの入学者、異領域からの入学者、社会人、留学生等多様な入学者を対象とする様々な入試を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。
		心理臨床学専攻	心理学研究科心理臨床学専攻は、所定の単位を30単位以上修得し、修士論文の審査および試験に合格して本課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して「修士（心理学）」の学位を授与します。 1（知識・技能） 心理臨床領域における実践的な専門技能や職業倫理観・法的知識、及び研究・開発に関わる高度な知識的・技能的水準を修得し、それらを総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 広い視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、高度な「考動力」を発揮し、実際的な問題解決を通して社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らの学びに責任を持ち、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。				

			による指導と評価によって把握する。 (3) 心理実践実習Ⅰ～Ⅴは、担当の専任教員が各学生の実習指導者と到達目標の達成度について意見交換をするとともに、学生自身の到達目標の達成度に関する自己評価を確認し、一次的に評価を行った後、最終的には実習担当の専任教員全員の合議により成績評価を決定する。	
博士課程後期課程	心理学研究科は、所定の単位を12単位以上修得し、必要な研究指導を受けて博士論文の審査に合格し、本課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して「博士（心理学）」の学位を授与します。 1（知識・技能） 研究者として活動するために必要とされる認知・発達・社会・応用・臨床の心理学に関する卓越した知識・技能を修得し、それらを地域社会・家庭・学校教育・企業組織・公的サービス等の現場に還元して総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、卓越した「考動力」を発揮し、新たな研究力の開拓を通して、社会に貢献することができる。 3（主体的な態度） 自らの学びに責任を持ち、高い職業的倫理観のもと、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。	心理学研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 (1) 認知・発達・社会・応用・臨床の心理学分野すべてに担当教員ごとの演習科目を置くことによって、卓越した知識・技能を効率的に修得させることを目指す。 (2) 演習科目等において、学生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受け、細分化された専門領域の徹底した深い研究を行うことを通して、卓越した研究力を獲得することができる体制を整える。 (3) 研究遂行に求められる倫理観を育む機会を提供する。 2 学習成果の評価 (1) 知識・技能の修得に関しては、博士論文の審査、各種の学修行動調査と到達度の結果を組み合わせで把握する。 (2) 「考動力」に集約される思考力・判断力・表現力等の能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。 (3) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	心理学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、博士課程前期課程修了者及び専門職学位課程の心理臨床学専攻修了者だけではなく、他大学大学院修士課程（博士課程前期課程）修了者、さまざまな企業や機関において研究業務に携わった経験のある社会人、海外からの留学生特にアジアの各地域や国からの留学生を対象とする様々な入試を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 学士課程及び博士課程前期課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。 2 学士課程及び博士課程前期課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。	

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
社会安全研究科	修士課程前期課程	社会安全研究科では、所定の教育課程を修めたうえで、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身につけた者に対して修士の学位を授与します。 1（知識・技能） 安全・安心な社会を創造するために現状を複眼的に分析するとともに、既存の理論を継承・発展させて新しい理論を創造するために必要な高度な専門的知識を活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 災害や事故のリスクを理工学的な視点から定量的に評価するだけでなく、社会科学的な視点からの定性的な評価を加えることによってリスクをより総合的に評価できる手法を開発するとともに、高度な「考動力」を発揮して安全・安心な社会を実現するための政策を提言・立案できる実践的かつ専門的な能力を有する。 3（主体的な態度） 社会安全分野に関する様々な情報に目を配り、課題を発見するとともに、課題解決に向けて主体的に取り組むことができる。	社会安全研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて、必要な科目を体系的に教育課程として編成します。 1 教育内容 （1） 科目を人間システム系、社会システム系、理工システム系の3つに体系化し、自分の専門分野はもとより、社会安全分野における幅広い知識を習得させる。 （2） 演習科目等において、学生一人ひとりが指導教員から専門分野に関する指導を受けるとともに、選択科目等を通じて多様な講義（lecture）と助言（suggestion）を受けることにより、高度な研究能力を獲得させる。 （3） 指導教員等による演習等を通じて、日本語及び一つ以上の外国語を的確に理解し、記述し、表現することができるスキルを修得させる。 （4） 主担当教員1名以外に、異分野の副担当教員2名を定め、学際的な研究指導を行う。 2 学習成果の評価 （1） 研究の進捗状況を確認し、その質を確保するために、毎年、修士論文テーマについて全専任教員の前で口頭発表させる「修士論文中間発表会」を行う。 （2） 修士論文を主査1名と副査2名の3名により精査し、それぞれの指導内容を反映したものを最終版として提出させる。 （3） 口頭試問及び「修士論文発表会」を行い、本研究科の評価基準を満たしたものを合格とする。	社会安全研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を受け入れます。 1 社会安全に関する課題に強い関心を持ち、社会安全分野における基礎的な知識・技能を修得している。 2 社会安全に関する課題をグローバルな視野に立って自ら考え、法学・政治学、経済・経営学、社会学、心理学、理学、情報学、工学、労働・社会医学などの多角的な視点から問題に切り込みつつ、強いリーダーシップを発揮して社会に貢献できる。 3 社会安全に関する課題解決に向け、主体的に取り組む強い意欲を持っている。
	博士課程後期課程	社会安全研究科では、所定の教育課程を修めたうえで、次の知識・技能、資質・能力及び態度を身につけた者に対して博士の学位を授与します。 1（知識・技能） 安全・安心な社会を創造するために、現状を複眼的に分析するとともに、既存の理論を継承・発展させて新しい理論を創造するために必要な卓越した専門的知識を有する。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 社会安全分野において自立した研究遂行能力を備え、卓越した「考動力」を発揮して理論創造と政策提言を行うことができる。 3（主体的な態度） 社会安全分野に関する様々な情報に目を配り、課題を発見するとともに、高い職業的倫理観のもと、課題解決に向けて主体的に取り組むことができる。	社会安全研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を修得できるように、以下の点を踏まえて、必要な科目を体系的に教育課程として編成します。 1 教育内容 （1） 科目を人間システム系、社会システム系、理工システム系の3つに体系化し、社会安全分野の専門研究者及び高度専門職業人の育成という視点を強く意識したカリキュラム編成とする。 （2） 演習科目等において学生一人ひとりが指導教員から専門分野に関する指導を受けるとともに、選択科目等を通じて多様な講義（lecture）と助言（suggestion）を受けることで、卓越した研究能力を獲得させる。 （3） 指導教員等による演習等を通じ、日本語及び一つ以上の外国語について、的確に理解し、記述し、表現するとともに、コミュニケーション・プレゼンテーションを行うことができるスキルを修得させる。 2 学習成果の評価 （1） 研究の進捗状況を確認し、その質を確保するために、全学生に、課程在籍中2回、全専任教員の前で博士論文テーマについて口頭発表させる博士論文	社会安全研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を受け入れます。 1 社会安全に関する諸問題に強い関心を持ち、社会安全分野における専門的知識・技能を修得している。 2 社会安全に関する諸課題をグローバルな視野に立って自ら考え、法学・政治学、経済・経営学、社会学、心理学、理学、情報学、工学、労働・社会医学などの多角的な視点から問題に切り込みつつ、社会安全研究領域を創設するとともに、防災・減災の実現のための理論創造と政策提言に寄与できる。 3 社会安全に関する課題解決に向け、主体的に取り組む強い意欲を持っている。

			中間発表会を行う。 (2) 博士論文を主査1名と副査2名の3名により精査し、それぞれの指導内容を反映したものを最終版として提出させる。 (3) 口頭試問を行い、本研究科の評価基準を満たしたものを合格とする。 (4) 学位の授与が認められた者は、博士論文公聴会を行う。	
--	--	--	---	--

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
東 ア ジ ア 文 化 研 究 科	博士課程前期課程	東アジア文化研究科では、東アジアにおける諸文化の形成と展開及び相互関係を把握し、豊かな専門的学識と高度な研究能力を備えた研究者及び高度専門職業人の養成を目的としています。この目的を具現化した人材として、以下の能力を身につけた者に対して修士（文化交渉学）の学位を授与します。 1（知識・技能） 東アジア文化に関する高度で専門的な知識を有し、それを活用して人類の知的営みに貢献することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 「考動力」を発揮して、東アジア文化に関する総合的・学際的視野から、自ら設定した課題を考察し解決することができる。 3（主体的な態度） 東アジア文化に関する深い理解と高度で専門的な知を的確に伝え発信し、知識基盤社会を支えることに寄与しようとする態度を示すことができる。	東アジア文化研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体的な態度の修得を実現するために、以下の方針にしたがって、教育課程を体系的に編成します。 1 教育内容 （1） 講義・演習等を適切に組み合わせ、東アジア文化に関する高度な専門的知識・技能を修得できるように体系的に科目を配置する。 （2） 演習科目においては、指導教員から個別に研究指導を受け、東アジア諸文化の専門家としての研究能力を養成する。 （3） 現代の東アジア文化研究全体のなかで自己の研究課題を位置づけるために、多様な共通科目群を設置する。 （4） 学術成果のグローバルな発信力を養成するための科目群を設置する。 2 学習成果の評価 （1） 教育内容の修得度は、学位論文の審査及び到達度調査等の結果を組み合わせ評価する。 （2） 研究成果は、学内・学外の学会発表あるいは学術誌への投稿・掲載等によって把握する。	東アジア文化研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1 東アジア文化に関して、学士課程修了相当の基礎的な知識を有し、口頭発表や論文執筆によって発信するための基本的能力を有している。 2 東アジア文化研究の研究方法に立脚して、自らの研究課題を設定することができる。 3 東アジア文化に対する深い関心を持ち、自らの専門的知識によって知識基盤社会の発展に寄与する意欲を持っている。
	博士課程後期課程	東アジア文化研究科では、東アジアにおける諸文化の形成と展開及び相互関係を把握し、豊かな専門的学識と卓越した高度な研究能力、高い職業倫理観を備えた研究者及び高度専門職業人の養成を目的としています。この目的を具現化した人材として、以下の能力を身につけた者に対して博士（文化交渉学）の学位を授与します。 1（知識・技能） 東アジア文化に関する高度で専門的な知識を有し、新たな知を創造する能力を有している。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 「考動力」を発揮して、東アジア文化に関する総合的・学際的視野から、自ら設定した課題を展開し、高い学術的価値を有する成果に結実させることができる。 3（主体的な態度） 東アジア文化に関する深い理解と洞察に基づき、高い水準と独創性を備えた知的発信を行い、知識基盤社会を先導する専門家としての自覚を示すことができる。	東アジア文化研究科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体的な態度の修得を実現するために、以下の方針にしたがって、教育課程を体系的に編成します。 1 教育内容 （1） 講義・演習等を適切に組み合わせ、東アジア文化に関する最先端の高度な専門的知識・技能を修得できるように体系的に科目を配置する。 （2） 演習科目においては、指導教員からの個別に入念な研究指導を受け、自立した研究者としての高度な研究能力を完成する。 （3） 現代の東アジア文化研究全般を俯瞰し、その担い手として自己の研究課題を開拓し意義づける姿勢を養成するために、多様な共通科目群を設置する。 （4） 学術成果の高度でグローバルな発信力を養成するための科目群を設置する。 2 学習成果の評価 （1） 教育内容の修得度は、学位論文の審査及び到達度調査等の結果を組み合わせ評価する。 （2） 研究成果は、学内・学外の学会発表あるいは学術誌への投稿・掲載、及び各年次の研究成果報告書によって把握する。	東アジア文化研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。 1 東アジア文化の専門的な研究内容および方法について、博士課程前期課程（修士課程）修了相当の知識を有し、自らの研究成果を口頭発表や論文執筆によって的確に、かつ国際的に発信するための専門的能力を有している。 2 東アジア文化研究の研究方法に立脚して、自らの研究課題を設定し展開することができる。 3 東アジア文化の高度な研究に対する深い関心と自立した研究者としての自覚を持ち、専門的知識の継承と創造を通じて、知識基盤社会の発展を先導する意欲を持っている。

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
ガバナンス研究科	博士前期課程	ガバナンス研究科博士課程前期課程は高度公共人材の育成を目的として、国際社会において総合的・学際的な教育研究を行い、高い倫理性を持ち、国際水準でも通用するような課題を発見する能力、政策を立案する能力、政策を評価する能力を有した上で、自らが創り出した政策を実行に移していくことができる高度専門職業人及び研究者を養成し、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を身に付けたものに対して修士の学位を授与します。 1（知識・技能） 高度専門職業人として高い倫理性を持ち、国際社会・高度情報化社会が抱える諸問題にガバナンス学の高い専門性を用いて、自らが創り出した政策を実行に移すことができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 実践的なコミュニケーション能力を軸とする「考動力」を基盤とし、国際水準でも通用するグローバルあるいはローカルなレベルにおける課題の発見、それに対する政策の立案、そしてその政策を適切に評価する力を身に付けている。さらに政策分析の知識、研究の遂行に必要な基本的能力、国際的な視野も身に付けることができる。 3（主体的な態度） 学士課程で培った密なコミュニケーションを基盤とし、解のない現代社会の諸問題に高い専門性を持って意欲的に取り組み、強いリーダーシップをもって新しい価値を主体的に生み出すことができる。	ガバナンス研究科（以下、「本研究科」という）では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を修得できるように、以下の点を踏まえて博士課程前期課程を編成します。 1 教育内容 （1） 学士課程で修得した知識・技能をさらに活用に向けて実践するために、講義、演習を体系的に組み合わせている。具体的には法学・政治学・行政学及び経済学・経営学を主たる柱としつつ、相互の有機的な連関を保つ。 （2） 社会科学各分野を網羅しつつ厳選されたかたちで配置されている講義科目群は、政策分析の基礎と手法を身に付けながら、学生の関心に応じて、地域における公共的な課題の解決、あるいは国際レベルにおける公共的な課題の解決に対して必要とされる学際的なアプローチをとるにあたって必要となる知識を獲得できるようにデザインされている。 （3） 特に問題を多角的に考察する能力を身に付けることを目標に、演習科目を設置している。 2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、修士論文や学会発表等の研究成果を、外部評価を含めて審査し、通常の授業評価と組み合わせる把握する。 （2） 本研究科において身に付ける思考力・判断力・表現力等の能力と、主体的に学びに取り組む態度に関しては、指導教員による指導と評価によって把握する。	ガバナンス研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を博士課程前期課程に求めます。 1（知識・技能） 国際社会・高度情報化社会が抱える諸問題の根源にある背景を知識として有している。また政策研究は学際的であり、研究対象・方法の多様性という特徴を持つため、法学、政治学、行政学、経済学、経営学などの社会諸科学あるいは都市工学、環境学、統計学などの自然諸科学のうちのいずれかの分野について、学部レベルでの基礎知識を修得している。 2（思考・判断・表現） 実践的なコミュニケーション能力を軸とする「考動力」の基盤を有し、課題の発見やそれに対する政策の立案、そしてその政策を適切に評価する力の基礎を身に付けている。また、論理的思考及び表現の基本を身に付けている。 3（態度） 基本的なコミュニケーション能力を有し、グローバルあるいはローカルなレベルの諸問題解決に強い意欲を有している。
	博士後期課程	ガバナンス研究科博士課程後期課程は高度公共人材および高度専門職業人の育成を目的とするだけでなく、自律した研究者としてその知識・能力を最大限に発揮して、またその考動力を高いレベルで活かして、内外の社会へ貢献できる人材を養成し、次の知識・技能、資質・能力及び態度を身に付けたものに対して博士の学位を授与します。 1（知識・技能） 高度専門職業人としての高い倫理性を持ち、国際水準でも通用する高度な課題発見の能力、政策を立案する高度な能力、政策を評価する高度な能力を有するとともに、グローバルあるいはローカルなレベルにおいて、自らが創り出した政策を実行に移していくことができる。 2（思考・判断・表現） 実践的なコミュニケーション能力を軸とする「考動力」を基盤とし、国際水準でも通用するグローバルあるいはローカルなレベルに	ガバナンス研究科（以下、「本研究科」という）では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を修得できるように、以下の点を踏まえて博士課程後期課程を編成します。 1 教育内容 （1） 博士課程前期課程で修得した知識・技能をさらに活用に向けて実践するために、講義、演習を体系的に組み合わせている。具体的には法学・政治学・行政学及び経済学・経営学を主たる柱としつつ、相互の有機的な連関を保つ。 （2） 社会科学各分野を網羅しつつ厳選されたかたちで配置されている講義科目群は、政策分析の基礎と手法を身に付けながら、学生の関心に応じて、地域における公共的な課題の解決、あるいは国際レベルにおける公共的な課題の解決に対して必要とされる学際的なアプローチをとるにあたって必要となる知識を獲得できるようにデザインされている。 （3） 特に問題を多角的に考察する能力を身に付けることを目標に、演習科目を設置している。	ガバナンス研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた人を博士課程後期課程に求めます。 1（知識・技能） 国際社会・高度情報化社会が抱える諸問題の根源にある背景を知識として有している。また政策研究は学際的であり、研究対象・方法の多様性という特徴を持つため、法学、政治学、行政学、経済学、経営学などの社会諸科学あるいは都市工学、環境学、統計学などの自然諸科学のうちのいずれかの分野について、大学院レベルでの基礎知識を修得している。 2（思考・判断・表現）

	おける課題の発見、それに対する政策の立案、そしてその政策を適切に評価する力を身に付けている。さらに政策分析の知識や国際動向、研究の遂行に必要な高度な能力、国際的な視野も身に付けることができる。 3（主体的な態度） 博士課程前期課程で培った密なコミュニケーションを基盤とし、解のない現代社会の諸問題に高い専門性を持って意欲的に取り組み、強いリーダーシップをもって新しい価値を主体的に生み出すことに加えて、国際的ネットワークを通じて積極的に価値創出の枠組みを形づくることができる。	2 学習成果の評価 （1） 知識・技能の修得に関しては、博士論文や学会発表等の研究成果を、外部評価を含めて審査し、通常の授業評価と組み合わせて把握する。 （2） 本研究科において身に付ける資質・能力と、主体的に学びに取り組む態度に関しては、指導教員による指導と評価によって把握する。	実践的なコミュニケーション能力を軸とする「考動力」の基盤を有し、課題の発見やそれに対する政策の立案、そしてその政策を適切に評価する高度な能力を身に付けている。また、論理的思考及び表現の高度な能力を身に付けている。 3（態度） 高度なコミュニケーション能力を有し、グローバルあるいはローカルなレベルの諸問題解決に強い意欲を有している。
--	---	--	---

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
人間健康研究科	博士課程前期課程	人間健康研究科の博士課程前期課程では、高度専門職業人としての健康運動指導者や体育・スポーツの指導者の育成と、学際的かつ実践的な視野を持って人間の健康（health）と健幸（well-being）を推進する研究者の基礎教育を行っています。そのため、所定の教育課程を修めるとともに、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力および主体的な態度を身につけた者に対して「修士（健康学）」の学位を授与します。 1（知識・技能） 人間の健康と健幸に関わる研究者、もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる高度な知識・技能を修得し、それらを総合的かつ実践的に活用できる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人々と円滑なコミュニケーションをとりつつ、関西大学が推奨する判断力と行動力を融合した「考動力」を発揮して社会に貢献できる。 3（主体的な態度） 時代の要請を常に意識し、高い倫理観を持って、未解決の課題に対して主体的に取り組む意志と能力を発揮できる。	人間健康研究科（以下、「本研究科」という）では、高度専門職業人としての健康運動指導者や体育・スポーツの指導者の育成と、学際的かつ実践的な視野を持って人間の健康（health）と健幸（well-being）を推進する研究者の基礎教育を行っています。その学位に相応しい知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力および主体的な態度を修得できるよう、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （１） 「人間健康研究」と「健康調査研究法」からなる「基礎科目」で、研究に必要な基本技能を学ぶとともに、研究遂行に求められる倫理観を育む機会を提供している。 （２） 「演習科目」等において、学生一人ひとりが指導教員から個別に入念な指導を受け、論理的かつ批判的な思考力と、高度な研究遂行能力を獲得することができる体制を整えている。また、その「演習科目」と連動する形で「専門科目」を履修することで、関連領域の研究者として基礎的な素養の習得が可能となるようにしている。 （３） 「実習科目」では、学外の施設や行政と連携し、地域とともに教育研究活動を行うことで、習得した知識を実践的な課題に応用し、社会に貢献できる能力を養成する。 （４） 実務家教員を招いて講義科目を設け、関連領域の高度専門職業人の育成を支援している。また、中学校・高等学校教諭の専修免許状（保健体育）取得に必要な科目を揃えている。 2 学習成果の評価 （１） 知識・技能の修得に関しては、修士論文や学会発表等の研究成果を、外部評価を含めて審査し、通常の授業評価と組み合わせて把握する。 （２） 本研究科において身につける思考力・判断力・表現力等の能力と、主体的に学びに取り組む態度に関しては、指導教員による指導と評価によって把握する。	人間健康研究科では、高度専門職業人としての健康運動指導者や体育・スポーツの指導者の育成と、学際的かつ実践的な視野を持って人間の健康（health）と健幸（well-being）を推進する研究者の基礎教育を行っています。その目的を達成するため、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力および主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。 1 関西大学人間健康学部出身者については、学士課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。それ以外の出身者については、健康と健幸の推進に必要な基礎知識を有している。 2 学士課程における学習、もしくはそれに相当する社会経験を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人々と円滑なコミュニケーションをとりつつ、関西大学が推奨する判断力と行動力を融合した「考動力」を発揮して社会に貢献する意欲を有している。 3 時代の要請を常に意識し、高い倫理観を持って、健康と健幸に関わる学問領域を主体的に学んでいく意欲と資質を有している。
	博士課程後期課程	人間健康研究科の博士課程後期課程では、体育学、健康科学、教育学、社会学、社会福祉学、文化人類学等、関連する各専門分野で研究者として自律した研究活動を行ううえで必要な高度の研究能力と、研究成果を人間の健康（health）と健幸（well-being）の推進に生かせる課題分析力と解決力を持った人材を育てます。そのため、所定の教育課程を修めるとともに、次の知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力および主体的な態度を身につけた者に対して「博士(健康学)」の学位を授与します。 1 健康と健幸を推進する研究者、もしくは高度専門職業人として自立して活動するために必要とされる卓越した知識・技能を修得し、それらを実践的に活用できる。	人間健康研究科（以下、「本研究科」という）では、体育学、健康科学、教育学、社会学、社会福祉学、文化人類学等、関連する各専門分野で研究者として自律した研究活動を行ううえで必要な高度の研究能力と、研究成果を人間の健康（health）と健幸（well-being）の推進に生かせる課題分析力と解決力を持った人材を育てます。その学位に相応しい知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力および主体的な態度を修得できるよう、以下の点を踏まえて教育課程を編成しています。 1 教育内容 （１） 学際的に広い視野を確保すると同時に、個別の学問分野でも専門家として通用する人材を育成するため、指導教員は多面的な視点からの指導を行うとともに、場合によっては一人の学生に複数の指導教員を配置する。その手厚い指導体制のなかで、「演習科目」等を通じて研究遂行に求められる思考力や	人間健康研究科（以下、「本研究科」という）では、「人間にとって真に必要な健康のあり方」という観点から人間の健康（health）と健幸（well-being）を推進できる研究者の養成や、ヘルスプロモーションやスポーツプロモーションの実現に寄与できる高度専門職業人の養成を目指しています。そのため、一般入試に加えて社会人入試制度を用意して、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力および主体的な態度を備えた入学者を受け入れます。 1 本研究科出身者については、博士課程前期課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修

		2 グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人々と円滑なコミュニケーションをとりつつ、地域の課題を具体的に把握し、関西大学が推奨する判断力と行動力を融合した「考動力」を高いレベルで発揮して社会に貢献できる。 3 時代の要請を常に意識し、高い職業的倫理観を持って、未解決の課題に主体的に取り組む意志と能力を発揮できる。	批判力と、倫理観を育む機会を提供している。 (2) 「講義科目」では、複数の教員がその専門分野の垣根を越えて一つの社会課題に取り組む科目を履修することで、研究成果を社会に還元する道筋を具体的に学べるようにしている。 (3) 博士号を有する高度専門職業人を目指す学生に対しては、「課題解決プロジェクト（各テーマ）」を用意しており、長期間にわたって学生の研究関心に合った現場で実際の課題に取り組み、社会に貢献する経験を積むことができる。 2 学習成果の評価 (1) 知識・技能の修得に関しては、博士論文やその準備段階で提出される学術論文、および学会発表等の研究成果を、外部評価を含めて審査し、通常の授業評価と組み合わせて把握する。 (2) 本研究科において身につける思考力・判断力・表現力等の能力と、主体的に学びに取り組む態度に関しては、指導教員による指導と評価によって把握する。	得している。それ以外の出身者については、健康と健幸の推進に必要な知識を、修士の学位取得者と同等レベルで有している。 2 博士前期課程における学習、もしくはそれに相当する社会経験を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人々と円滑なコミュニケーションをとりつつ、地域の課題を具体的に把握し、関西大学が推奨する判断力と行動力を融合した「考動力」を発揮して社会に貢献する意欲を有している。 3 時代の要請を常に意識し、高い職業的倫理観を持って、健康と健幸の推進に関わる学問領域を主体的に学んでいく強い意欲と資質を有している。
--	--	--	--	--

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
法 務 研 究 科 （ 法 科 大 学 院 ）	専 門 職 学 位 課 程	法務研究科の掲げる教育理念に則り、高度な専門的知識を有し、高い倫理的責任感を備えた法曹となるにふさわしい能力を修得した者に法務博士の学位を授与する。具体的には、所定の年限以上在学し、本法務研究科がその教育理念を実現するために設定した所定のカリキュラムに則った教育を受け、法律基本科目、法律実務基礎科目、展開・先端科目、基礎法学・隣接科目のそれぞれにつき、必要修得単位を含む所定の単位を修得することが学位授与の要件である。また、教育理念をよりよく実現するため、各学年において、定められた必要単位数を修得するとともに、必修科目について定められた GPA 基準を満たすことを進級要件として定めている。	法務研究科は、(1)理論と実務のバランス、(2)優れた人権感覚、(3)新たな問題に対処できる創造性の3つの資質を備えた法曹の養成という教育理念を実現するため、以下の特色あるカリキュラムを提供している。 第一に、法律基本科目では、抽象的な理論教育にとどまらず、常に事例に即した体系的な学識の修得に配慮し、法曹養成のための実践科目としての充実を図るとともに、実務教育への架橋の実現に留意している。第二に、職業的倫理観と豊かな人間性・市民感覚を涵養することを目的とした法曹倫理やリーガルクリニック等の法律実務科目を設置している。第三に、先端的法分野については、多くの科目で入門科目としての講義1を配置し、学生に多様な先端的法分野を学ばせると同時に、講義2（科目によってはさらに講義3）および演習を配置して、学生に当該法分野についてより深い専門的知見を得ることができるよう配慮している。第四に、外国法に関する知見の修得と国際的視野の養成を図るため、中国ビジネス法を専門とする弁護士教員による講義・演習科目のほか、国際契約実務、ビジネス法律英語の講義科目、渉外法律実務の演習科目を設けている。また、国際協力機構（JICA）の協力の下、海外エクスターンシップを行っている。第五に、新たな法的問題又は法と隣接する諸分野に対する幅広い視野に立った洞察力を育成すべく、現代法特殊講義（各テーマ）、法と社会（各テーマ）、の学際分野科目を設けている。	法務研究科は、関西法律学校を前身とする本学の教育理念である「学の実化（学理と実際との調和）」を法学の社会的実践を以て実現すべく、教育理念として、(1)理論と実務能力の双方を備えたバランスのとれた法曹、(2)幅広い教養と専門知識に裏打ちされた人権感覚に優れた法曹、(3)複雑・多様化する現代社会で生起する新たな問題に対処できる創造性をもった法曹、という3つの資質を備えた法曹の養成を掲げている。 この理念に基づき入学者選考では、志願者が、大学における学部教育を通じて教養と専門的学識を十分に修得していること、および、法曹養成教育を受けるための基盤的能力（読解力、思考力、文章構成力等）を備えていることを審査する。法学既修者コースでは、上記に加えて、法律基本科目についての基本的な知識・能力の修得を審査する。さらに、開放性、多様性を確保するため、社会人としての経験を重視して審査を行う入試制度を設けている。

		修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
会 計 研 究 科	専 門 職 学 位 課 程	会計専門職大学院では、国際水準で通用し、かつ理論と実務に習熟した会計専門職業人に対して会計修士（専門職）の学位を授与します。 1（知識・技能） 会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観及び豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。 2（思考力・判断力・表現力等の能力） 健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として考動力をもって社会の要請にこたえることができる。 3（主体的な態度） 国際化及びIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。	会計専門職大学院（以下、「本研究科」という）では、会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観及び豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。 1 教育内容 （1） 本研究科においては、高度な会計専門職業人として、①国際水準で通用すべく卓越した理論と実務への習熟、②公益を意識した職業倫理観の醸成を達成するために、会計・監査を中心に据えながら、将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。 （2） 横軸に科目群として、本研究科で専門職教育を受けるための前提となる「導入科目群」、会計専門職業人として最低限必要とされる能力を養う「基本科目群」、基本科目で習得した内容をさらに深化し隣接領域に展開する教育を行う「発展科目群」、そして、経済社会において即戦力となる会計専門職業人としての能力を養う「応用・実践科目群」を置く。一方、縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」の5系統を配置している。 （3） 個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニングを可能とする個別演習指導、研究志向の学生向けの論文作成の指導科目を「横断科目」として設置している。 2 学習成果の評価 （1） 学習成果の評価については、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして、明確な評価基準に従って行われる、 （2） 学習成果の評価基準は、筆記試験やレポート試験によるもののほか、プレゼンテーション及びディスカッションを総合評価するなど、各科目の特性に応じて定められており、その評価にあたっては、厳格な相対評価から絶対評価によるものまで、それぞれの科目に応じて基準が定められている。 （3） 「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。 （4） 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。	会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。 1 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。 2 入学試験としては、一般入試（学力重視方式及び素養重視方式）、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留学生別科特別入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。 3 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けることのできる者を総合的に選抜する。

KANSAI UNIVERSITY Three Policies (Graduate Schools) 2026

【 Kansai University Graduate Schools 】

<Master’s Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
Kansai University awards a master’s degree to students who have and acquired the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes by completing prescribed curricula in the degree programs: 1. Knowledge and Skills To have the advanced knowledge and skills necessary for independent researchers or highly specialized professionals, and to be able to use them comprehensively. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression To be able to think for themselves from a global perspective, to smoothly communicate with others, and to contribute to society by practicing Kansai University’s “Think and Act” academic philosophy in an advanced manner. 3. Proactive Attitudes To be able to take responsibility for their own learning and to face proactively against problems to be solved.	Kansai University configures its curricula based on the following items in order that the students can acquire knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes according to the Diploma Policy: 1. Educational Contents: (1) To aim to enable the students to acquire effectively the high quality of knowledge and skills through systematic configuration of lectures, seminars, and practices. (2) As for exercise subjects, to prepare the system that enables each student to receive careful guidance from supervising teachers in order to acquire advanced research capabilities. (3) To provide opportunities for students to foster the ethical perspectives required for execution of research. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) As for evaluation of acquisition of knowledge and skills, to grasp the achievements by integrating the results of screening degree theses or research reports on the specified themes, and various researches of learning activities and achievement tests. (2) As for evaluation of abilities of thinking, judgement, and expression, that is the power of “Think and Act” capabilities, to grasp the results of the University Competency Research in Student Assessment. (3) As for evaluation of proactive attitudes to learn, to grasp the results of various student assessment researches.	Kansai University widely accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes as the students of master’s degree program according to our Diploma policy and Curriculum Policy through various entrance examinations: 1. To have acquired the specialized knowledge and skills about their academic fields during undergraduate courses. 2. To be able to think for themselves from a global perspective, smoothly communicate with others, and contribute to society by the capacities of “Think and Act” through learning during the undergraduate courses. 3. To have strong willingness to proactively study their specific academic fields.

<Ph. D. Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
Kansai University awards a doctor’s degree to the students who have acquired the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes by completing prescribed curricula in the degree programs: 1. Knowledge and Skills To have acquired outstanding knowledge and skills necessary to act as researchers or highly specialized professionals, and to be able to use them comprehensively. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression	Kansai University configures its curricula based on the following items in order that the students can acquire knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes according to the Diploma Policy: 1. Educational Contents: (1) To aim to enable the students to acquire effectively the excellent knowledge and skills through systematic configuration of lectures, seminars, and practices. (2) As for seminars, to prepare the system that enables each student to receive careful guidance from supervising teachers in order to acquire outstanding research capabilities. (3) To provide opportunities for students to foster the ethical perspectives required for execution of	Kansai University widely accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes as the students of doctor’s degree program according to our Diploma and Curriculum Policy through various entrance examinations: 1. To have acquired the specialized knowledge and skills about their academic fields during undergraduate courses and master’s degree programs.

To be able to think for themselves from a global perspective, to smoothly communicate with others, and to contribute to society by practicing Kansai University’s “Think and Act” academic philosophy in an excellent manner. 3. Proactive Attitudes To be able to take responsibility for their own learning and to proactively act against the unsolved problems under their highly professional ethics.	research. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) As for evaluation of acquisition of knowledge and skills, to grasp the screening of the doctor’s theses, and the results of various researches of learning activities and achievement tests. (2) As for evaluation of abilities of thinking, judgement, and expression, that is the “Think and Act” capabilities, to grasp the results of the University Competency Research in Student Assessment. (3) As for evaluation of proactive attitudes, to grasp the results of various student assessment researches.	2. To be able to think for themselves from a global perspective, to smoothly communicate with others, and contribute to society by the capabilities of “Think and Act” through learning during undergraduate courses and the master’s degree programs. 3. To have strong willingness to proactively study their specific academic fields.
---	---	---

< Professional Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School (Professional Degree Program) awards a professional’s degree to students who have acquired the following knowledge and skills, abilities of thinking, Judgement, and expression, as well as proactive attitudes by completing prescribed curricula in the degree programs. 1. Knowledge and Skills To have acquired practical and pragmatic knowledge and skills required to act autonomously as highly specialized professionals, and to be able to use them comprehensibly. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Systems, to develop convincing arguments based on the norms and historical experiences, and to have acquired the “Think and Act” capabilities in order to contribute to building democratic decision making. 3. Proactive Attitude To be able to take responsibility for their own learning and to proactively work on facing problems to take the leadership as highly specialized.	The Graduate School (Professional Degree Program) configures its curricula on based the following points in order that the students can acquire knowledge and skills, abilities to think, judge, and express themselves, and proactive attitudes according to the Diploma Policy. 1. Educational Contents: (1) The Graduate School systematically arranges lectures, seminars, and practices in order for students to acquire practical and pragmatic knowledge and skills efficiently. (2) The Graduate School provides subjects to acquire practical abilities based on advanced theories. (3) The Graduate School offers opportunities to develop ethics required for high-quality professionals. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The level of acquisition of knowledge and skills will be evaluated by putting together acquisition of credits, analysis of total GPA, and the results of various researches of learning activities and achievement. (2) Abilities of thinking, judgement, and expression, that is, “Think and Act” capabilities will be evaluated by the results of the University Competency Research in Student Assessment. (3) Proactive attitudes to learn will be evaluated by various student assessment researches.	The Graduate School (Professional Degree Program) widely accepts through various entrance examinations those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, as well as proactive attitudes as the students according to our Diploma Policy and Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have acquired the specialized knowledge and skills about their academic fields during undergraduate courses. 2. To be able to think for themselves from a global perspective, smoothly communicate with others, and contribute to society by the capabilities of “Think and Act” through learning during undergraduate courses. 3. To have strong willingness to proactively study their specific academic fields.

【 Graduate School of Law 】

<Master's Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission policy
The Graduate School of Law awards the Master’s degree (Law) to students who, within the prescribed period, complete the designated subjects, earn the required credits, and submit a master’s thesis under the guidance of academic advisors. The qualification for completion is evaluated based on the acquisition of the following knowledge and abilities: 1. Knowledge and Skills To have acquired the academic knowledge necessary to function as a researcher or a highly specialized professional in law or political science—namely, knowledge of current laws and modern politics grounded in historical and ideological understanding. Students must also acquire the skill to appropriately and promptly locate information from judicial precedents, scholarly theories, and recent political developments, and the ability to analyze these comprehensively from legal or political perspectives. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression To be able to address various contemporary social problems from broad perspectives, including international trends; to explain such issues scientifically based on an accurate understanding of legal and political systems; and to develop convincing arguments informed by norms and historical experience. Through specialized subjects and the study of foreign literature, students ultimately acquire the ability to “Think and Act” so as to contribute to democratic decision making. Students must also acquire the ability to identify unresolved issues and solve problems through fair and flexible thinking based on concrete analysis of legal disputes or political situations. 3. Proactive Attitudes To have developed the capacity to select a significant research theme grounded in judicial precedents, academic theories, contemporary political conditions, and one’s future career path; to identify unresolved issues; to formulate an appropriate research plan; and to conduct research in accordance with that plan. Students must also acquire the attitude necessary to engage in academic dialogue and exchange through research presentations	The Graduate School offers the Legal and Political Studies Course for fostering researchers, the Highly Specialized Professional Course for cultivating advanced professionals, and the Global Cooperation Course to support the development and academic contributions of international students. The curriculum is organized as follows: 1. Educational Contents: (1) Knowledge and Skills The Legal and Political Studies Course aims to cultivate research ability and foundational academic knowledge necessary for independent scholarly activity. Students, in principle, take seminars each year under the same academic advisor. Through specialized subjects and study of foreign literature, students develop the ability to read and understand foreign academic materials. The Highly Specialized Professional Course and the Global Cooperation Course aim to foster advanced professionals with specialized expertise. Students receive practical education consisting of basic, lecture, and seminar subjects. Basic subjects provide foundational knowledge and skills; lecture subjects address advanced legal and political issues with historical and ideological context; seminar subjects focus on preparing the master’s thesis or research report. (2) Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students develop these abilities mainly through seminar subjects. In the Legal and Political Studies Course and the Global Cooperation Course, thesis seminars are regularly supervised by the academic advisor. In the Highly Specialized Professional Course, students receive dedicated guidance in the first year and further advice on specialized research themes in the second year. Problem-solving skills are cultivated through the General Seminar (Theme). (3) Proactive Attitudes Students develop proactive attitudes by formulating research plans, reporting progress to academic advisors, and submitting the Annual Research Results Report to the Dean. Opportunities for research presentations on and off campus and submissions to academic journals are provided. Ethics training and practice-oriented classes further strengthen awareness of the relationship between theory and practice. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) Knowledge and Skills Assessment is conducted mainly through basic subjects and lecture subjects. Evaluation focuses on the understanding of advanced knowledge in law and political science, logical and scientific explanation, construction of persuasive arguments, and the ability to reach reasonable conclusions through discussion.	The Graduate School of Law accepts applicants who can contribute to democratic decision making through logical and well-reasoned arguments based on accurate expertise in law and political science. Applicants are required: 1. Expertise and Communication To possess basic expertise in the historical development of legal and political institutions; sufficient knowledge to understand arguments in foreign countries; and the ability to express their own views accurately and understand those of others. 2. Openness to Diversity and Scientific Explanation To demonstrate willingness to recognize the significance of diverse perspectives rooted in different cultures and values, and to explain issues scientifically based on accurate legal and political knowledge, reaching mutual understanding through well-founded arguments. 3. Problem-solving Ability and Democratic Engagement To have the ability to solve problems through fair and flexible thinking, to engage actively with social phenomena, to form opinions through reference to legal and political expertise, to act toward solutions by reconciling competing interests in a democratic manner, and to present such solutions in the form of a master’s thesis or research report.

in classes, conferences, and society.	(2) Abilities of Thinking, Judgement, and Expression These abilities are evaluated through the master’s thesis or research report and seminar subjects. Evaluation criteria require that the work demonstrate comprehensive and analytical research appropriate to law or political science, or results sufficient for practical policy proposal. A research report need not be academically original but must show a high level of competence required of advanced professionals. The following criteria apply: i. Clear statement of problem awareness and issue setting. ii. Appropriate structure, argument development, and written expression. iii. Appropriate and sufficient research, analysis, and citation of prior studies and materials. (3) Proactive Attitudes Proactive attitudes are evaluated through research plans, seminar-based research reports, and the master’s thesis or research report.	
---------------------------------------	--	--

< Ph. D. Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission policy
The Graduate School of Law awards the Doctoral Degree (Law) to students who complete the designated subjects, earn the prescribed credits, and submit a doctoral thesis under the guidance of academic advisors within the prescribed period. The qualification for receiving the degree is judged based on the acquisition of the following knowledge and abilities: 1. Knowledge and Skills To have acquired the knowledge required to act as independent researchers of law or political science—namely, knowledge of current laws or modern politics grounded in historical and ideological understanding. Students must also acquire the skills to appropriately locate information from judicial precedents, scholarly theories, and recent political conditions, and gain the ability to analyze these comprehensively from legal or political perspectives and respond flexibly. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression To have acquired wide-ranging perspectives by collecting, translating, and understanding foreign literature, as well as the ability to address contemporary social issues through an understanding of foreign legal or political systems. Students must be able to explain such issues scientifically based on an accurate understanding of legal or political systems, develop convincing	The Graduate School aims for students to acquire the knowledge, skills, qualities, and attitudes required by the Diploma Policy and to foster researchers who possess advanced knowledge of law and political science and can utilize it effectively in various fields of society. The Graduate School offers the Legal and Political Studies Course, and the curriculum is structured on the following basis: 1. Educational Contents: (1) Knowledge and Skills The Ph.D. Degree Program aims to cultivate highly advanced research ability and substantial academic knowledge necessary for independent scholarly activity. Students, in principle, take small-group seminars each year under the same academic advisor. Through specialized subjects and the study of foreign literature, students also acquire the ability to read and understand foreign academic materials (2) Abilities of Thinking, Judgement, and Expression In the Ph.D. Degree Program, seminars for the doctoral thesis are regularly conducted under the guidance of the academic advisor. (3) Proactive Attitudes The Graduate School provides opportunities for students to present their research widely through academic meetings and conferences, or through submissions to academic journals such as <i>The Law Review of Kansai University</i> and <i>The Journal of Law</i>. Ethics training necessary for research activities is also provided. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) Knowledge and Skills	The Graduate School of Law accepts applicants who, through research developed in the Master’s degree program, are able to contribute to democratic decision-making through logical and convincing arguments based on highly advanced expertise in political society and necessary information. Applicants are required: 1. To possess advanced expertise in the historical development of legal and political institutions; to have sufficient foreign-language skills to understand and express arguments on legal and political issues; and to have the ability to express their own views accurately and understand others’ views. 2. To demonstrate willingness to recognize the significance of different viewpoints rooted in diverse cultures and values; to explain issues scientifically with accurate knowledge of legal and political institutions; and to reach mutual understanding through well-founded arguments based on norms and history. 3. To have the ability to solve problems through fair and flexible thinking; to maintain active interest in social

arguments grounded in norms and historical experience, and ultimately acquire the ability to “Think and Act” so as to contribute to democratic decision-making. 3. Proactive Attitudes To have acquired the ability to analyze specific legal disputes or political circumstances through legal or political thinking, to identify an unresolved issue as the theme for the doctoral thesis, and to propose a resolution based on an original and significant theory. Students must also develop the ability to solve problems through fair and flexible thinking and strengthen the persuasiveness of their proposals through presentations at academic meetings or submissions to academic journals.	The Graduate School evaluates students’ acquisition of knowledge and skills primarily through the screening of the doctoral thesis. The evaluation criteria require that the dissertation contain original and highly advanced academic content in the field of law or politics and be recognized as contributing to academic development. Evaluation is based on the following criteria: i. Whether the research demonstrates originality and expertise. ii. Whether the research contributes to academic development. iii. Whether the student’s problem awareness and issue setting are clearly stated. iv. Whether the structure, theoretical development, and written expression are appropriate. v. Whether the dissertation appropriately and sufficiently analyzes and cites prior research and materials. (2) Abilities of Thinking, Judgement, and Expression In lecture subjects, the Graduate School evaluates students’ ability to make logical and scientific explanations, construct well-founded arguments, and draw reasonable conclusions through reports and discussions. (3) Proactive Attitudes In seminars conducted by the academic advisor, the Graduate School evaluates students’ attitudes and abilities to study and solve issues using their own knowledge and thinking. Through dissertation screening, the Graduate School evaluates each student’s advanced academic abilities.	phenomena; to form their own views based on advanced expertise in legal and political institutions; to act toward solving problems by reconciling different interests in a democratic manner; and to present such solutions in the form of a doctoral dissertation.
---	--	--

【 Graduate School of Letters 】

<Master's Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Letters, which integrates specialization and interdisciplinary research, aims to foster profound academic knowledge and research skills in those who pursue an academic career, and foster advanced, universal knowledge in those who wish to play an active role in society as professionals with a high level of expertise. The School awards a master's degree (Arts) to those who have completed the course of study in accordance with the Curriculum Policy of the Graduate School, and have acquired the following abilities in their graduate studies: 1. Knowledge and Skills The ability to solve problems by utilizing the knowledge and skills expected of scholars or professionals with a high level of expertise. 2. Thinking, Judgment, and Expression The ability to “think and act” in their studies, and thereby identify problems from a global perspective, explore them by using insights and methodologies available in the field of humanities studies. and finally communicate the outcomes of their own intellectual inquiry. 3. A Proactive Attitude The ability to responsibly address unresolved challenges on their own initiative as experts in the humanities.	The Graduate School of Letters implements specialized education in a systematic way, and provides a curriculum based on the following points, in accordance with the Diploma Policy of the School: 1. Educational Content: (1) Each department offers its specialized subjects (via lectures, seminars, and practicums) to ensure that students can acquire highly technical knowledge and skills in a systematic way. (2) The Graduate School of Letters provides specialized seminars where students can acquire research abilities as specialists in the humanities under the guidance of their supervisors. (3) The Graduate School of Letters offers a variety of general subjects to allow students to situate their research within the field of humanities. (4) The Graduate School of Letters offers a number of minor courses that help students to acquire the skills to communicate the outcomes of their research to a global audience. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The graduate student's level of achievement is assessed by examining the master's thesis and other work submitted by the student. (2) The quality of the research is also assessed based on the graduate student's presentations at conferences (including those held by the academic circles in Kansai University) and their publications accepted by academic journals.	The Graduate School of Letters widely accepts applicants, in accordance with the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School, as follows: 1. Those who have acquired the technical knowledge and skills in a field of humanities taught in undergraduate courses. 2. Those who have acquired communication skills to think from a global perspective, express their ideas and understand people from diverse backgrounds through their undergraduate studies. 3. Those who have a strong interest in and sensitivity towards the humanities, as well as enthusiasm for independent research.

<Ph. D. Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Letters, which integrates specialization and interdisciplinary research, aims to foster profound academic knowledge and research skills in those who pursue an academic career, and foster advanced, universal knowledge in those who wish to play an active role in society as professionals with a high level of expertise. The School awards a doctoral degree to those who have completed the course of study and the dissertation, in accordance with the Curriculum Policy of the School, and have acquired the following abilities in their graduate studies: 1. Knowledge and Skills The ability to contribute to human intellectual activities by utilizing the knowledge and skills expected of scholars and professionals with	The Graduate School of Letters implements specialized education in a systematic way, and provides a curriculum based on the following points, in accordance with the Diploma Policy of the School: 1. Educational Content: (1) Each department offers its specialized subjects (via lectures, seminars, and practicums) to ensure that students can acquire highly technical knowledge and skills in a systematic way. (2) The Graduate School of Letters provides specialized seminars where students can acquire research abilities as responsible specialists in the humanities under the intensive guidance of their supervisors. (3) The Graduate School of Letters offers a variety of general subjects to allow students to recognize the significance of their own research within the humanities as a whole. (4) The Graduate School of Letters offers a number of minor courses that help students to acquire the skills to communicate the outcomes of their research to a global audience.	The Graduate School of Letters widely accepts applicants, in accordance with the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School, as follows: 1. Those who have acquired highly technical knowledge and skills in a field of humanities in the master's program. 2. Those who have learned to think from a global perspective, present the outcomes of their research in an appropriate way, and properly evaluate the research of other scholars, through their training in the master's program. 3. Those who have a profound interest in the field of

a high level of expertise. 2. Thinking, Judgment, and Expression The ability to “think and act” in their studies, and thereby accurately locate their academic inquiry in the global context, fully pursue the topic in depth using insights and methodologies available in the field of humanities studies, and finally communicate the outcomes of their own intellectual inquiry in logical and creative ways. 3. A Proactive Attitude The ability to actively address hitherto unsolved problems and to play a leading role in arriving at solutions, thereby contributing to the further development of the academic legacy inherited from one’s predecessors and to passing it on to the next generation.	2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The graduate student’s level of achievement is assessed by examining the doctoral thesis and other work submitted by the student. (2) The quality of the research is also assessed based on the graduate student’s presentations at conferences (including those held by the academic circles in Kansai University), and the student’s publications accepted by academic journals. The annual research report submitted by the graduate student is also taken into consideration.	humanities and a sense of responsibility as a researcher, and are eager to explore problems independently and contribute to the progress of humanities studies.
--	--	--

【 Graduate School of Economics 】

<Master's Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Economics' educational aim is to develop human resources with an international perspective, specialized knowledge, and advanced research abilities. When awarding a degree, the Graduate School place emphasis on achieving that goal. When conferring degrees, to ensure its transparency a certain period of public notice is required, and oral examinations will be open to the public. Specifically, the Graduate School will award a master's degree in economics to those who have acquired the following knowledge and skills, abilities such as thinking, judgment, and expression, and an independent attitude. 1. Knowledge and Skills Students will have advanced knowledge and skills, requirements to be active as economics researchers or highly specialized professionals, and will be able to utilize them comprehensively. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students will be able to contribute to society through an international perspective, leveraging their high level of expertise in economics, and demonstrating a high level of “Think and Act”. 3. Proactive Attitudes (1) Be able to take responsibility for one's own learning and independently tackle unresolved issues related to economics. (2) Students will be able to use their knowledge of economics to proactively tackle various domestic and international issues that are actually occurring.	At the Graduate School of Economics, as stated in the diploma policy, educational curriculum is organized so that students can acquire knowledge and skill abilities, such as thinking, judgment, and expression, as well as an independent attitude, based on the following points: 1. Educational Contents: (1) In response to economic and social changes, and to meet various motivations and student needs upon admission, the Graduate School established two programs: Graduate programs for Professional Development and Academic Development. The academic development program, which is designed to be integrated with the Ph. D. Degree Program, has an educational program for students to become independent researchers. The professional development program offers a wide range of subjects such as economics, public policy, regional/international, history/society, and business/finance, and is suitable for the career plans of a wide variety of students, including working adults and international students. (2) The coursework is enriched with compulsory basic subjects. In addition to acquiring knowledge of economics at the graduate level, the course also provides guidance on research methods such as data collection, empirical analysis, field research, and dissertation writing. 2. Educational Evaluation: (1) Acquisition of knowledge and skills will be determined by combining the results of examinations of the dissertation or research results on specific assignments, and on the results of various research surveys and research achievements. (2) Regarding the evaluation of abilities such as thinking power, judgment power, and expressive power, summarized in the power of “Think and Act” students are required to act independently using advanced knowledge of economics, and to participate and present at domestic and international academic conferences. The research will be evaluated comprehensively from the viewpoint of innovation, research content, and relevance to global issues. (3) Proactive attitudes to learn will be determined by aggregating various student assessment research.	At the Graduate School of Economics, a wide range of students are accepted through various entrance examination systems. In order to be able to receive education based on the policy for awarding degrees and the policy for organizing and implementing curriculum, those students are required to have knowledge and skills, thinking ability, judgment, and expression ability with a proactive attitude. 1. Applicants have acquired specialized knowledge related to economics, in which they majored in the bachelor's course. 2. It is desirable to have the ability to respond to modern society, where globalization is progressing, and to have acquired a broad perspective of foreign language proficiency, which serves as the basis for research. 3. To have a strong desire to proactively learn cutting-edge economics.

< Ph. D. Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
In the doctoral program at the Graduate School of Economics, the doctoral degree will be conferred to those who after completing the prescribed curriculum for each degree program, acquired the following knowledge and skills, abilities such as thinking, judgment, and expression, as well as an independent attitude.	At the Graduate School of Economics, the curriculum is organized so that students can acquire knowledge and skills, abilities such as thinking, judgment, and expression, as well as an independent attitude as stated in the degree award policy, and based on the following points. 1. Educational Contents: (1) The aim is to help students acquire outstanding knowledge and skills efficiently by	At the Graduate School of Economics, a wide range of students are accepted through various entrance examination systems, and in order to be able to receive education based on the policy for awarding degrees and the policy for organizing and implementing curriculum,

1. Knowledge and Skills Students will be able to systematically acquire cutting-edge knowledge in economics, utilize it comprehensively to independently carry out research activities, and present outstanding results. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students will be able to contribute to society with an international perspective, making use of their high level of expertise in economics, and exhibiting outstanding “Think and Act” abilities’. 3. Proactive Attitudes As an economics researcher, students will be able to involve proactively in the various problems faced by economics and real society, and disseminate the results of their research to society at large.	systematically combining lectures, exercises, and practical training. (2) In the Ph.D. Program each student will receive careful guidance from their supervisor in seminar subjects, and will be able to acquire outstanding research abilities. The Program also actively provides opportunities for conference presentations and publication of research results. (3) The Program provides opportunities to develop the ethical standards required for conducting research. 2. Educational Evaluation: (1) Acquisition of knowledge and skills will be determined by combining the results of dissertation examinations, various learning behavior surveys, and achievement surveys. (2) Regarding the evaluation of abilities such as thinking power, judgment power, and expressive power, summarized in the “Think and Act” abilities, students are required to act independently using advanced knowledge of economics, and will be evaluated comprehensively from the viewpoint of participation and presentation at domestic and international academic conferences, and innovation, research content, and relevance to global issues. (3) Attitudes toward proactive learning will be determined by aggregating various student assessment researches.	students are required to have knowledge and skills, thinking ability, judgment, and expression ability with a proactive attitude. 1. Applicants have acquired specialized knowledge and skills related to economics, in which they graduated in their bachelor's and master’s programs. 2. Students are equipped with the ability to respond to modern society, where globalization is progressing, and have excellent foreign language proficiency, which provides a more multifaceted and broader perspective basis for research. 3. To have a strong desire to independently learn cutting-edge economics with an attitude of proactively tackling economics and real economic issues.
---	--	---

【 Graduate School of Business and Commerce 】

<Master’s Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Business and Commerce (Master’s Degree Program) is an educational institute that promotes the study of modern business with the focus on the analysis of activities by corporations as economic entities, and aims to produce researchers and professional experts who lead the future society while interacting with research activities. The Graduate School offers one major of Business and Commerce which is divided into researcher fostering and preparatory course for Ph.D. Program (Academic Research Course) and high-quality professional research course (Professional Research Course). The former course provides subjects about five specialized academic fields; Distribution, Finance, International Business, Management, and Accounting under instruction of academic advisors. The latter course provides subjects categorized into three fields; Strategic Management, Distribution and International Business, and Finance and Accounting. The Graduate School awards the master’s degree (Business and Commerce) to those students who have acquired a total of 32 credits and more among various subjects placed in the program and submitted a master’s thesis for the former course and a research thesis for the latter course, and have acquired the following knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as proactive attitudes after screening and examination of the submitted thesis. Besides, a public screening meeting is held to ensure the validity of the award of the degree. 1. Knowledge and Skills Students have acquired sophisticated knowledge and skills required for playing as a researcher or as a professional expert in the field of Business and Commerce and are capable of making use of them in a comprehensive manner. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students can contribute to the society through research and practical activities in the field of Business and Commerce by thinking from a global perspective on their own and demonstrating their “Think and Act” capabilities provided with problem-solving, leadership and logical and critical thinking abilities.	The Graduate School of Business and Commerce offers Academic Research Course which aims to produce researchers whose unique works are highly evaluated internationally, and Professional Research Course which aims to produce highly-qualified professionals who can play an active role in economies. The Graduate School configures its curriculum in order for the students to acquire the knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as a proactive attitude according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to enable students to acquire efficiently excellent knowledge and skills of Business and Commerce fields by systematically configuring lectures, seminars, and practices. (2) The Graduate School arranges the academic system to allow all the students to receive elaborate guidance by academic advisors and acquire excellent abilities. i. Academic Research Course The Graduate School provides the subjects to enable students to acquire abilities of knowledge, methodology and analysis required for conducting research activities autonomously and configures the curriculum to enable them to prepare a master’s thesis through the completion of seminars by professors in the major field and subjects in the related fields. ii. Professional Research Course The Graduate School provides individual research guidance adapted to research themes of the students, basic and method subjects to learn basic knowledge and analytical methodology on Business and Commerce, and lecture subjects taught by business persons to develop practical knowledge and business sense, and configures the curriculum so as to enable students to acquire abilities required for high-quality professionals playing an active role in the fields of Distribution, Finance International Business, Management, and Accounting. (3) The Graduate School offers the opportunities to learn research ethics (through e-learning, etc.) with a view to developing ethical values required for the implementation of research. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The level of acquisition of excellent knowledge and skills of the Business and Commerce field and abilities to think, judge and express themselves are judged by integrating comprehensively the results of academic achievements, individual evaluation by academic advisors and the public screening of master’s thesis. (2) Proactive attitude to learn will be checked based on the analysis of various student assessment surveys.	The Graduate School of Business and Commerce aims to train students to become researchers who can conduct creative research with advanced knowledge or to become highly qualified professionals with expertise and practical knowledge who can solve complex and diverse problems of business. The Graduate School is widely open also to international students through original entrance examinations, thereby contributing to internationalizing the Graduate School. The Master’s Degree Program has two courses of Academic Research Course and Professional Research Course and provides adequate subjects for each of the courses. The Graduate School accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, expression, and proactive attitudes and deserve as the graduate school students according to the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the specialized knowledge and skills of the academic field of Business and Commerce of the undergraduate course. 2. To have the following qualities and abilities through their study of the undergraduate course: (1) Academic Research Course: To have willingness to positively absorb and develop the existing research results through study of specialized subjects and to establish themselves as researchers of Business and Commerce by advancing to the Ph.D. Degree Program. (2) Professional Research Course: To have potentialities to develop their abilities of problem solution, flexible thinking, and sharp sense of reality. 3. To have strong willingness to study proactively the academic field of Business and Commerce.

3. Proactive Attitudes Students can take responsibility for their own learning and address unsolved issues in the field of Business and Commerce in a proactive attitude.		
---	--	--

< Ph. D. Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Business and Commerce (Ph.D. Degree Program) is an educational institute that promotes the study of modern business with the focus on the analysis of activities by corporations as economic entities, and aims to produce researchers and professional experts who lead the future society while interacting with research activities. The Ph.D. Degree Program offers one major of Business and Commerce in which various subjects related to Distribution, Finance, International Business, Management, and Accounting are placed. The Program awards the Ph.D. Degree (Business and Commerce) to those who have acquired a total of 20 credits and more among various subjects placed in the program, who have successfully completed their doctor’s thesis, and who have acquired the following knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as a proactive attitude after screening doctor’s thesis. Besides, a certain public notice period is provided to ensure the validity of the award of the degree. 1. Students have acquired sophisticated knowledge and skills required for playing an active role as researchers or professionals in the field of Business and Commerce and are capable of making use of them in a comprehensive manner. 2. Students can contribute to the society through research and practical activities in the field of Business and Commerce from a global perspective based on their own thinking and demonstrating the excellent capabilities of “Think and Act” as well as problem-solving, leadership, and logical and critical thinking abilities. 3. Students can take responsibility for their own learning and address unsolved issued in the field of Business and Commerce in a proactive manner.	In order to enable students to acquire excellent knowledge and skills required for autonomous research activities and to conduct creative research by fully utilizing the knowledge, the Graduate School of Business and Commerce configures its curriculum based on the following points, with a view to enabling students to acquire in addition to the knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as a proactive attitude according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to enable students to acquire efficiently excellent knowledge and skills of Business and Commerce by systematically configuring lectures, seminars, and practices. (2) The Graduate School provides academic system to allow all the students to receive elaborate guidance from academic advisors in order to acquire excellent abilities. (3) The Graduate School provides opportunities to learn research ethics (through e-learning, etc.) with a view to developing ethical values required for the implementation of research. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The level of acquisition of excellent knowledge and skills of Business and Commerce and abilities to think, judge and express themselves are evaluated comprehensively by integrating the results of academic achievements, individual evaluation by academic advisors and the evaluation of doctor’s thesis after a certain public notice period. (2) Proactive attitude to learn will be checked based on the analysis of various student assessment researches.	The Graduate School of Business and Commerce (Ph.D. Degree Program) aims to train students to become researchers through creative research with advanced knowledge and highly qualified professionals with expertise and practical skills to solve complex and diverse problems of business. The Graduate School is widely open also to international students through original entrance examinations, thereby contributing to internationalizing the Graduate School. The Ph.D. Degree Program is provided with specialized subjects about Distribution, Finance International Business, Management, and Accounting. The Graduate School accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes and deserve as the graduate school students according to the Diploma Policy and Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the specialized knowledge and skills of the academic field of Business and Commerce of the undergraduate course and master’s degree program. 2. To have the abilities of problem solution, leadership, and logical and critical thinking through their study of the undergraduate course and master’s degree program, and to be able to contribute to society with their research and practical activities in the academic field of Business and Commerce. 3. To have strong willingness to study proactively the academic fields of Business and Commerce.

【 Graduate School of Sociology 】

<Master's Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Sociology (Master's Degree Program) aims to foster the students who can conduct empirical and practical research in the interdisciplinary fields of social and human sciences and have high-level expertise and independent research abilities. Thus the Graduate School gives the Master's Degree (Sociology) to those who have acquired the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes, and have passed the screening and examination of the master's thesis or results of a specific research task after acquiring prescribed number of credits: 1. Knowledge and skills (1) Students have acquired knowledge of a broad perspective and can demonstrate necessary abilities for basis of research in the specialized field or for working as professionals of high-quality expertise. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression (1) Students can accept a diversity of values and ways of thinking in the society and transmit their own opinions in addition to listening attentively to others. (2) Students can observe and understand social matters as well as human activities calmly and appropriately, discover the problems using the “Think and Act” capabilities in order to propose solutions. 3. Proactive Attitudes (1) Students can demonstrate intellectual curiosity and constructive critical spirit towards people around and social circumstances. (2) Students have the proactive power of “Think and Act” to construct a new society while understanding and respecting social traditions. (3) Students have acquired the attitude and habit to take a broader perspective without limiting their views to the narrower familiar communities.	The Graduate School of Sociology configures the subjects such as lecture for the basis of specialized subjects and related knowledge, practice for specialized research methods, and seminar for research guidance in a small class: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to foster the students who develop a highly autonomous research attitude with wide perspective through introducing thesis preparation guidance by an academic advisor and research guidance by plural teachers. (2) In addition to the courses in their own majors, which consist of seminars, research guidance courses, core subjects, applied subjects, and practical subjects, the Graduate School may approve subjects from other majors and graduate schools for the admission of additional credits in order to respond to more diversified student research interests. (3) The Graduate School aims to cultivate not only researchers, but also professionals with high-levels of expertise by offering a program which is completed with the submission of results on a specific research task without a master's thesis. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) Levels of acquisition of knowledge and skills will be evaluated through integration of screening of the master's thesis and judgement of results of a specific research task as well as the results of various researches of learning activities and achievement tests. (2) The evaluation of abilities to think, judge and express themselves, summarized as the power of “Think and Act” capabilities will be made by tallying the competency survey of Kansai University; (3) The proactive learning attitudes will be evaluated by various student assessment researches.	The Graduate School of Sociology accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes and deserve as the graduate school students according to the Diploma Policy and Curriculum Policy of the Graduate School from a wide range of people including adult members of society and international students: 1. To have sufficient basic knowledge and academic abilities necessary for becoming independent researchers, and/or to have sufficient basic knowledge and academic abilities necessary for professionals provided with advanced expertise. 2. To have a deep consciousness for problems of society and human beings, and to have enough concerns and willingness to research from wider perspectives. 3. To have willingness to contribute academically to society by solving the problems of society and human beings and creating new values.

< Ph. D. Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Sociology (Doctor’s Degree Program) aims to foster the students who can conduct empirical and practical research in the interdisciplinary fields of social and human sciences with high-levels of expertise as well as independent research abilities. Thus the Graduate School gives the Doctor’s Degree (Sociology) to those who have acquired the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes and have passed the screening of the doctor’s thesis and the final examination after having acquired the prescribed number of credits and received necessary research guidance: 1. Knowledge and Skills (1) Students have acquired academic knowledge from a broad perspective and demonstrate specialized research abilities required for autonomous researchers or abilities required for independent professionals with high-quality expertise 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression (1) Students can accept a diversity of views and values in the society and transmit their own opinions in addition to listening attentively to others. (2) Students can observe and understand social matters as well as human activities objectively and appropriately, discover the problems based on their capabilities of “Think and Act”, in order to propose solutions. 3. Proactive Attitudes (1) Students can demonstrate intellectual curiosity and constructive critical spirit towards people around and social circumstances. (2) Students have the proactive power of “Think and Act” to construct a new society while understanding and respecting social traditions. (3) Students have acquired the attitude and habit to take a broader perspective without limiting their views to the narrower familiar communities.	The Graduate School of Sociology configures its curriculum to enable students to acquire research ability by placing lecture for learning theories and methods and thesis supervision subjects. 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to foster the students who develop a highly autonomous research attitude with wide perspective through introducing thesis preparation guidance by an academic advisor and research guidance by plural teachers. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) Levels of the acquisition of knowledge and skills will be evaluated through integration of the screening of the doctor’s thesis and judgement of the results of a specific research task as well as the results of various researches of learning activities and achievement tests. (2) The abilities to think, judge and express themselves, summarized as the “Think and Act” capabilities, will be evaluated by tallying the competency survey of Kansai University. (3) The proactive learning attitudes will be evaluated by various student assessment researches.	The Graduate School of Sociology accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes, and deserve as the graduate school students according to the Diploma Policy and Curriculum Policy of the Graduate School from a wide range of people including adult members of society and international students: 1. To have sufficient basic knowledge and academic abilities of expertise necessary for independent researchers in the future. 2. To have wider research concern, original consciousness for problems, and flexible intelligence necessary for conducting interdisciplinary research of social and human sciences. 3. To have willingness to contribute academically to society by solving the problems of society and human beings and creating new values.

【 Graduate School of Informatics 】

<Master’s Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Informatics (The Master’s Degree Program) awards the master’s degree to those who have attended the school for the prescribed period, obtained the prescribed number of credits, and acquired the following knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as a proactive attitude after the screening of the Master’s thesis: 1. Knowledge and Skills Students have acquired high-levels of knowledge and skills required for playing an active role as a researcher or a professional “informatics specialist” with high-levels of expertise and can make full use of them. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students have learned the theories of information in a broad perspective required for researchers and “informatics specialist” and have acquired the ability to investigate and analyze that is required for each specialized field as well as utilizing skills of information technology to contribute to society. 3. Proactive Attitudes Students will have willingness to pursue research, take responsibility for their own learning, and work proactively to discover and solve problems in various areas of society as "information specialists"	The Graduate School of Informatics configures its curriculum based on the following points with a view to enabling students to pursue research under the guidance and supervision of academic advisors, cultivate a broad range of knowledge under the guidance of multiple teachers, and acquire the knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as a proactive attitude according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to enable students to acquire high levels of knowledge and skills efficiently by systematically configuring lectures and seminars in consideration of the expertise and commonality of Social Informatics Major and Intelligence Informatics Major. (2) The Graduate School aims to enable students to pursue research under the guidance and supervision of academic advisors and acquire a broad range of knowledge through the study of a “project research subject” under the guidance of multiple teachers. (3) In each project research, the Graduate School aims to enable students to pursue research under the guidance and supervision of academic advisors from an international perspective and take up social issues and leading technology issues which may increase their importance with the development of information technology. (4) In the project research, the Graduate School will assess and revise its contents in accordance with research development and social changes. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The Graduate School ensures that students pursue a sophisticated and specialized research under the guidance and supervision of academic advisors, and evaluates whether the thesis, or the result of the research, as qualified for a master’s degree. (2) The Graduate School ensures openness and transparency in the award of the master’s degree by holding an oral examination or a public hearing to receive criticisms from multiple researchers.	The Graduate School of Informatics widely accepts those who have the following knowledge and skills, abilities for thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes, and are deemed to be “information specialists” as the graduate school students according to the Diploma Policy and the Curriculum Policy for fostering researchers and highly skilled professionals of the Graduate School: 1. To have specialized knowledge and skills obtained in undergraduate or equivalent programs. 2. To have a strong willingness to be a researcher and/or “information specialists” provided with rich academic knowledge and advanced research abilities. 3. To have abilities to realize the theory and application of informatics based on the “Think and Act” capabilities to contribute to the development of information society.

< Ph. D. Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Informatics (Ph.D. Program) awards the Ph.D. degree to those who have attended the school for the prescribed period, obtained the prescribed number of credits and acquired the following knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as a proactive attitude after screening of the doctoral dissertation: 1. Knowledge and Skills Students will acquire the exceptional knowledge and skills necessary	The Graduate School of Informatics configures its curriculum based on the following points with a view to enabling students to pursue research under the guidance and supervision of academic advisors, acquire a broad range of knowledge under the guidance of multiple teachers, and acquire the knowledge and skills, disposition and capabilities, and attitudes according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to enable students to acquire high levels of knowledge and skills efficiently by systematically configuring lectures and seminars in consideration of the expertise	The Graduate School of Informatics widely accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes, and are deemed to be “information pioneers” as graduate school students according to the Diploma Policy and Curriculum Policy of the Graduate School in order to foster those challenging creative and pioneering research in fields of informatics which is rapidly developing:

to become "information pioneers" and produce pioneering research results. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students have appropriate expertise as autonomous researchers or highly-qualified professionals and have the ability to produce creative and useful results in each major that are to be highly evaluated by academic referees. 3. Proactive Attitudes Students create new value in their field of study by using their abilities as "information pioneers" while being motivated to promote research of high academic value.	and commonality of Social Informatics Major and Intelligence Informatics Major. (2) The Graduate School aims to enable students to pursue research under the guidance and supervision of academic advisors and acquire a broad range of knowledge through the study of a “Research Field” under the guidance of multiple teachers. (3) In each research field, the Graduate School aims to enable students to pursue creative and pioneering research under the guidance and supervision of academic advisors and take up essential issues of the society and leading technology which increase their importance with the development of information 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The Graduate School ensures that students pursue sophisticated and specialized research under the guidance and supervision of academic advisors and evaluates the dissertations as a result of the research for a Ph.D. Degree. (2) The Graduate School ensures openness and transparency in the award of the Ph.D. Degree by holding an oral examination or a public hearing to receive criticisms from multiple researchers.	1. To have specialized and advanced knowledge and skills in the undergraduate and master’s degree or its equivalent programs. 2. To have rich academic knowledge and a strong willingness to be researchers through challenging creative and pioneering research in fields of informatics. 3. To have potential as researchers to develop new academic fields crossing over the border of human and natural sciences and to create advanced research results.
--	---	--

【 Graduate School of Science and Engineering 】

<Master’s Degree Program in Science>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Science and Engineering (Master’s Degree Program in Science) offers the Engineering Science Major. Under the major, there are two disciplines of Mathematics, Pure and Applied Physics. Under the concepts of “system design” , major program aims to cultivate the abilities to understand the essence of phenomena behind advanced knowledge or new technology, to approach technical problems from both of hardware and software, and to demonstrate the functions of substances and advanced mathematical models in a variety of systems and devices and foster talented human resources with abilities to elucidate advanced research issues of technological social systems from the perspective of science and engineering, and to lead industries of next generation in the international stages. The Graduate School awards the degree of master (Science) to those students in the fields of “Mathematics” and “Pure and Applied Physics” who have completed the prescribed curriculum by receiving research guidance in the respective field and have acquired the following knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as proactive attitude: 1. Knowledge and skills Students have acquired a high-level of knowledge and skills of the respective specialized field of science and engineering required for playing an active role as researchers or highly-qualified professionals and can make full use of them with the ability of logical and deductive thinking and value creativity. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression (1) Students have ability to think autonomously from a global perspective and to transmit their views by using English skills which are indispensable for collecting global academic information. (2) Students can contribute to the society by demonstrating high-levels of the power of “Think and Act” to solve issues while keeping smooth communication with others. 3. Proactive Attitudes Students can take responsibility for their own learning and display proactively problems with problem-identifying and problem-solving abilities.	The Graduate School of Science and Engineering (Master’s Degree Program) configures its curriculum based on the following points with a view of enabling students to acquire knowledge and skills, abilities to think, judge, and express themselves as well as proactive attitude according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) As for lecture and seminar subjects, the Graduate School systematically configures the general subjects in the Graduate School, the general subjects in the major program, and the specialized subjects designated by the respective field in order for students to acquire high qualified knowledge and skills efficiently. (2) As for practice subjects, the Graduate School arranges seminars under academic advisors and provides elaborate research guidance for enabling individual students to acquire high-levels of research ability (3) The Graduate School offers dispatch-based practice which allows acquisition of credits by dispatching the students to the domestic or overseas research institutions in order to encourage students to conduct broad range of global research activities. (4) The Graduate School offers opportunities to develop research ethics and security-oriented attitudes required for research activities. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of knowledge and skills will be evaluated through integrating the results of tests at the end of or during the semester, and screening the master’s thesis or specified research task. (2) The abilities of consideration and logical thinking, presentation skills, and research attitude will be evaluated through oral presentations in seminars and screening of the master’s thesis or the specified research task. (3) The proactive learning attitudes will be measured by tallying up various student assessment including the state of presentation in academic meetings, and by oral examination at research presentation.	The Graduate School of Science and Engineering (Master’s Degree Program) widely accepts through a variety of entrance examinations those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes as the graduate school students according to the Diploma Policy and Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the expertise of their specialized fields on the foundation of the basic academic abilities of science and engineering in the undergraduate courses. 2. To be able to think autonomously from a global perspective, to smoothly communicate with others, and to contribute to society with their capabilities of “Think and Act” on the foundation of their learning results at the undergraduate courses. 3. To have strong willingness to study proactively their specialized academic fields.

< Ph. D. Degree Program in Science >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Science and Engineering (Ph.D. Degree Program in science) offers the two disciplines of Mathematics, Pure and Applied Physics under Integrated Science and Engineering Major. The Graduate School of Science and Engineering awards the degree of doctor (Science) to those students in the fields of “Mathematics” and “Pure and Applied Physics” who have completed the prescribed curriculum by receiving research and thesis preparation guidance in each academic field and have acquired the following knowledge and skills, dispositions and abilities as well as attitude: 1. Students have acquired outstanding knowledge and skills of the respective field of science and engineering required for playing an active role as researchers or highly-qualified professionals in an autonomous manner, and can make full use of them with the ability of logical and deductive thinking and value creativity. 2. Students have the sufficient ability to improve and use English skills which are indispensable for collecting global academic information and transmitting their opinions, and can think from a global perspective and transmit research results both domestically and internationally. 3. Students can contribute to the society by demonstrating the outstanding power of “Think and Act” and leadership while keeping smooth communication with others. 4. Students can take responsibility for their own learning, and address unsolved issues by themselves with problem-identifying and problem-solution abilities based on high professional ethics.	The Graduate School of Science and Engineering (Ph.D. Degree Program) configures its curriculum based on the following points with a view of enabling students to acquire knowledge and skills, qualities and abilities as well as attitudes according to the Diploma Policy: 1. Educational contents: (1) The Graduate School aims to enable the students to acquire outstanding knowledge and skills through conducting advanced research under the academic advisors. (2) The Graduate School arranges to enable the students to acquire the most advanced knowledge and skills in each specialized field by providing seminars conducted by academic advisors. (3) The Graduate School provides guidance for publication of research results such as academic thesis and presentation at academic meetings. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of knowledge and skills will be evaluated through integrating the screening of doctor’s thesis or specified research task and the state of their publication. (2) The abilities of consideration and logical thinking, and dispositions and capabilities summarized in the University’s “Think and Act” academic philosophy will be evaluated by screening academic thesis or doctor’s thesis, and checking research presentations or public inquiry of the theses. (3) The proactive learning attitudes will be measured according to the state of presentation at the academic meetings and publication of academic reports, and through oral examination.	The Graduate School of Science and Engineering (Ph.D. Degree Program) widely accepts through a variety of entrance examinations those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes as the graduate school students according to the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the expertise of their specialized fields during their undergraduate courses and master’s degree programs. 2. To be able to think autonomously from a global perspective, to smoothly communicate with others, and to contribute to society with their capabilities of “Think and Act” based on results of learning during their undergraduate courses and master’s degree programs. 3. To have strong willingness to study proactively their specialized academic fields.

【 Graduate School of Science and Engineering 】

<Master’s Degree Program in Engineering>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Science and Engineering (Master’s Degree Program in Engineering) offers the three majors, Engineering Science Major, Environmental and Urban Engineering Major and Chemistry, Materials and Bioengineering Major. Under the majors there are seven disciplines of Mechanical Engineering, Electrical, Electronic and Information Engineering, Architecture, Civil, Environmental and Applied Systems Engineering, Chemical, Energy and Environmental Engineering, Chemistry, Materials and Bioengineering and Life Science and Biotechnology. Under the concepts of “system design,” “urban design” and “manufacturing,” each major program aims to cultivate the abilities to understand the essence of phenomena behind advanced knowledge or new technology, to approach technical problems from both of hardware and software, and to demonstrate the functions of substances in a variety of systems and devices and foster talented human resources with abilities to elucidate advanced research issues of technological social systems from the perspective of science and engineering, and to lead industries of next generation in the international stages. The Graduate School awards the degree of master (Engineering) to those students who have completed the prescribed curriculum by receiving research guidance in the respective field and have acquired the following knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as proactive attitude: 1. Knowledge and skills Students have acquired a high-level of knowledge and skills of the specialized field of engineering required for playing an active role as researchers or highly-qualified professionals and can make full use of them with the ability of logical and deductive thinking and value creativity. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression (1) Students have ability to think autonomously from a global perspective and to transmit their views by using English skills which are indispensable for collecting global academic information. (2) Students can contribute to the society by demonstrating high-	The Graduate School of Science and Engineering (Master’s Degree Program) configures its curriculum based on the following points with a view of enabling students to acquire knowledge and skills, abilities to think, judge, and express themselves as well as proactive attitude according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) As for lecture and seminar subjects, the Graduate School systematically configures the general subjects in the Graduate School, the general subjects in the major program, and the specialized subjects designated by the respective field in order for students to acquire high qualified knowledge and skills efficiently. (2) As for practice subjects, the Graduate School arranges seminars under academic advisors and provides elaborate research guidance for enabling individual students to acquire high-levels of research ability (3) The Graduate School offers dispatch-based practice which allows acquisition of credits by dispatching the students to the domestic or overseas research institutions in order to encourage students to conduct broad range of global research activities. (4) The Graduate School offers opportunities to develop research ethics and security-oriented attitudes required for research activities. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of knowledge and skills will be evaluated through integrating the results of tests at the end of or during the semester, and screening the master’s thesis or specified research task. (2) The abilities of consideration and logical thinking, presentation skills, and research attitude will be evaluated through oral presentations in seminars and screening of the master’s thesis or the specified research task. (3) The proactive learning attitudes will be measured by tallying up various student assessment including the state of presentation in academic meetings, and by oral examination at research presentation.	The Graduate School of Science and Engineering (Master’s Degree Program) widely accepts through a variety of entrance examinations those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes as the graduate school students according to the Diploma Policy and Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the expertise of their specialized fields on the foundation of the basic academic abilities of science and engineering in the undergraduate courses. 2. To be able to think autonomously from a global perspective, to smoothly communicate with others, and to contribute to society with their capabilities of “Think and Act” on the foundation of their learning results at the undergraduate courses. 3. To have strong willingness to study proactively their specialized academic fields.

levels of the power of “Think and Act” to solve issues while keeping smooth communication with others. 3. Proactive Attitudes Students can take responsibility for their own learning and display proactively problems with problem-identifying and problem-solving abilities.		
---	--	--

< Ph. D. Degree Program in Engineering >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Science and Engineering (Ph.D. Degree Program in Engineering) offers the seven disciplines of Mechanical Engineering, Electrical and Electronic Engineering, Architecture, Civil, Environmental and Applied Systems Engineering, Chemical, Energy and Environmental Engineering, Chemistry, Materials and Bioengineering, and Life Science and Biotechnology under Integrated Science and Engineering Major. The Graduate School of Science and Engineering awards the degree of doctor (Engineering) to those students who have completed the prescribed curriculum by receiving research and thesis preparation guidance in each academic field and have acquired the following knowledge and skills, dispositions and abilities as well as attitude: 1. Students have acquired outstanding knowledge and skills of the respective field of science and engineering required for playing an active role as researchers or highly-qualified professionals in an autonomous manner, and can make full use of them with the ability of logical and deductive thinking and value creativity. 2. Students have the sufficient ability to improve and use English skills which are indispensable for collecting global academic information and transmitting their opinions, and can think from a global perspective and transmit research results both domestically and internationally. 3. Students can contribute to the society by demonstrating the outstanding power of “Think and Act” and leadership while keeping smooth communication with others. 4. Students can take responsibility for their own learning, and address unsolved issues by themselves with problem-identifying and problem-solution abilities based on high professional ethics.	The Graduate School of Science and Engineering (Ph.D. Degree Program) configures its curriculum based on the following points with a view of enabling students to acquire knowledge and skills, qualities and abilities as well as attitudes according to the Diploma Policy: 1. Educational contents: (1) The Graduate School aims to enable the students to acquire outstanding knowledge and skills through conducting advanced research under the academic advisors. (2) The Graduate School arranges to enable the students to acquire the most advanced knowledge and skills in each specialized field by providing seminars conducted by academic advisors. (3) The Graduate School provides guidance for publication of research results such as academic thesis and presentation at academic meetings. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of knowledge and skills will be evaluated through integrating the screening of doctor’s thesis or specified research task and the state of their publication. (2) The abilities of consideration and logical thinking, and dispositions and capabilities summarized in the University’s “Think and Act” academic philosophy will be evaluated by screening academic thesis or doctor’s thesis, and checking research presentations or public inquiry of the theses. (3) The proactive learning attitudes will be measured according to the state of presentation at the academic meetings and publication of academic reports, and through oral examination.	The Graduate School of Science and Engineering (Ph.D. Degree Program) widely accepts through a variety of entrance examinations those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes as the graduate school students according to the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the expertise of their specialized fields during their undergraduate courses and master’s degree programs. 2. To be able to think autonomously from a global perspective, to smoothly communicate with others, and to contribute to society with their capabilities of “Think and Act” based on results of learning during their undergraduate courses and master’s degree programs. 3. To have strong willingness to study proactively their specialized academic fields.

【 Graduate School of Foreign Language Education and Research 】

< Master’s Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Foreign Language Education and Research Studies (Master’s Degree Program) awards the master’s degree (Foreign Language Education and Research) to those who have completed the prescribed course of study and acquired the following knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves as well as a proactive attitude: 1. Knowledge and Skills Students have acquired a broad range of interdisciplinary knowledge required for each field of foreign language education, intercultural communication, and interpretation and translation studies and can make use of their academic knowledge comprehensively. 2. Abilities of Thinking, Judgment, and Expression Students have acquired the ability to operate in a foreign language and understand different cultures and can exercise the “Think and Act” capabilities by making use of their broad range of interdisciplinary knowledge and contribute to society by disseminating their own research and practical results. 3. Proactive Attitudes Students can observe and analyze their circumstances to explore issues in a proactive manner, and propose and execute solutions based on data.	The Graduate School of Foreign Language Education and Research Studies configures the curriculum based on the following points in order for the students to acquire knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as a proactive attitude according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School systematically configures lectures, seminars, and practicum courses in order for the students to acquire high levels of knowledge and skills efficiently. Specifically, the Graduate School offers lecture courses for acquiring a theoretical basis for each area of the foreign language education, intercultural communication, and interpretation and translation studies; practicum courses for learning basic research methods experientially, for studying a variety of practical problems, and for acquiring a high-level of proficiency in the majored language. (2) The Graduate School offers the master’s degree program appropriate for each majored language and research program and enables each student to be guided carefully by their academic advisors in order to foster high levels of research ability. (3) The Graduate School obligates the students to learn research ethics. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) Learning achievements of the students of the one-year master’s course are assessed by the comprehensive examination, and those of the students of other course are by their master’s thesis or research results of a specific task summarized in research reports. (2) Abilities to think, judge and express themselves, summarized as the “Think and Act” capabilities will be evaluated by academic achievement mainly in the Master’s seminar where students are required to make presentations of their original research. Moreover, various learning behavior surveys will be conducted to measure their progress. (3) Proactive attitudes to learn will be evaluated by tallying up various student assessment and their research attitudes.	The Graduate School of Foreign Language Education and Research Studies accepts those who have the following knowledge and skills, the ability to think, make judgements, and express themselves, and who have a proactive attitudes, all of which are necessary qualities for graduate school students to have as outlined in the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School: 1. A high level of foreign language proficiency, intercultural communicative competency, and a basic Bachelor’s level of knowledge and skills in the fields of foreign language education, intercultural communication, and interpretation and translation studies. 2. Experience as a professional foreign language teachers, and a willingness to critically analyze their own experiences in order to improve their performances, and to discover and solve various workplace issues. 3. A strong willingness to study proactively in one of the three programs of foreign language education, intercultural communication, and interpretation and translation studies.

< Ph. D. Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Foreign Language Education and Research Studies (Ph.D. Program) awards the doctor’s degree (Foreign Language Education and Research) to those who have completed the prescribed course of study and acquired the following (a) knowledge and skills, (b) abilities of thinking, judgment, and expression, and (c) proactive attitudes:	The Graduate School of Foreign Language Education and Research Studies configures the curriculum of the doctor’s degree program based on the following points in order to acquire knowledge and skills, abilities and attitudes according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School offers a tutorial curriculum tailored to help students acquire outstanding knowledge and skills to pursue original theoretical and empirical research.	The Graduate School of Foreign Language Education and Research Studies accepts those who have the following knowledge and skills, and abilities, and who have a proactive attitudes all of which are necessary qualities outlined in the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School:

1. Knowledge and Skills Students have acquired the interdisciplinary knowledge and skills required for the field of foreign language education and research as an autonomous researcher or a highly-qualified professional and can apply them comprehensively to their own research and teaching. 2. Abilities of Thinking, Judgment, and Expression Students have acquired a high-level of ability to operate in a foreign language and understand different cultures and can exercise the “Think and Act” capabilities by making use of their excellent academic knowledge and contribute to society by disseminating their own research and practical results. 3. Proactive Attitudes Students can observe and analyze their circumstances as a researcher or a highly-qualified professional in a proactive manner, and propose and execute solutions according to data based on high levels of professional ethics.	(2) The tutorial curriculum is configured so as to allow individual students to receive elaborate guidance from their academic advisors and acquire an outstanding ability to pursue their research. (3) The Graduate School obligates the students to learn research ethics training and offers the opportunities to foster the research ethics presentations at international as well as national research conferences, submission of research articles as well as at the tutorial programs. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) Learning achievements in the doctor’s degree program are evaluated based on the qualifying examination of the doctoral research which is implemented in the second year onwards. The evaluations are also based on academic presentations both in Japan and abroad, publication of peer-reviewed research articles, and public defense (i.e., viva voce) of the doctor’s dissertation. (2) Students who have satisfied the evaluation standards of the Graduate School in terms of the research results summarized in the doctor’s thesis are deemed as qualified. (3) The evaluation of abilities and proactive learning attitudes summarized as the “Think and Act” capabilities will be made by tallying the results of the University’s Competency Research in Student Assessment and those of various student assessment researches.	1. A high level of foreign language proficiency and deep understanding of cross-cultural communication, a basic level of expertise for foreign language education in the Master’s programs in one of the fields of foreign language education, and sufficient research and practical experience. 2. The ability to conduct interdisciplinary research using “Think and Practice” capabilities, and to disseminate the results of one’s research both domestically and internationally. 3. A strong willingness and sufficient ideas to conduct research proactively and independently.
--	--	---

【 Graduate School of Psychology 】

<Master’s Degree Program>

[The Psychology Major]

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Psychology Major at the Graduate School of Psychology (Master’s Degree Program) awards a Master’s Degree in Psychology to those who have obtained the prescribed number of credits of 30 or more and have completed the academic program by having passed their thesis defense and examinations and who have acquired the following knowledge and skills, the abilities of thinking, judgement, and expression as well as a proactive attitude: 1. Knowledge and Skills Students have acquired knowledge and skills required of researchers in one of the following fields of psychology: cognitive, physiological, social, industrial, developmental, educational, health, personality, computational and methodological. They also have demonstrated the ability to apply such knowledge and skills in areas including the following: local communities, households, educational institutions, corporate organizations and public services. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression. Students can contribute to society by providing practical solutions, arising from thinking with a global perspective; communicating appropriately with others, and demonstrating the capabilities of “Think and Act.” 3. Proactive Attitude Students can take responsibility for their own learning and address unsolved issues in a proactive manner.	The Psychology Major at the Graduate School of Psychology configures its curriculum based on the points listed below with the goal of enabling students to acquire the following knowledge and skills, critical thinking ability, decisiveness, expression, and proactive attitudes in accordance with the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to enable students to acquire outstanding knowledge and skills efficiently within the following 5 academic fields of psychology by systematically configuring lectures, experiments and practicum cognitive and physiological, social and industrial, developmental and educational, health and personality, computational and methodological. (2) The Graduate School provides an educational system wherein each student can receive elaborate guidance from academic advisors for every experiment and research subject as well as subjects within the academic fields and can acquire an outstanding level of research ability that will allow them to respond quickly to the most advanced research trends while also paying attention to the field of psychology as a whole. (3) The Graduate School offers opportunities to nurture the ethical values required for students to execute research through experiments. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The level of acquisition of knowledge and skills is evaluated through the integration of the thesis defense and the results of various researches of learning activities and achievement tests. (2) Critical thinking, decisiveness and expression, summarized as the “Think and Act” capabilities will be evaluated through the results of the University’s Competency Research in Student Assessment. (3) Proactive attitudes to learn will be evaluated by reviewing the results of various student assessment researches.	The Psychology Major at the Graduate School of Psychology widely accepts, through various entrance examinations, those who have learned psychology, those from other academic fields and international students who have the following knowledge and skills, abilities of critical thinking, judgement, and expression as well as pragmatic attitudes in accordance to the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the specialized knowledge and skills of the academic field studied during in the undergraduate courses. 2. To have the ability to think independently from a global perspective, the skills to smoothly communicate with their peers, and the desire to contribute to society through the capabilities of “Think and Act”. 3. To have strong willingness to study proactively in a specialized academic field.

[The Clinical Psychology Major]

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Clinical Psychology Major at the Graduate School of Psychology (Master’s Degree Program) awards a Master’s Degree in Psychology to those who have obtained the prescribed number of credits of 30 or more and have completed the academic program by having passed their thesis defense and examinations and who have acquired the following knowledge and skills, the abilities of thinking, of judgement, and of expression as well as a proactive attitude:	The Clinical Psychology Major at the Graduate School of Psychology configures its curriculum based on the points listed below with the goal of enabling students to acquire the following knowledge and skills, critical thinking and judgement, expressiveness, and proactive attitudes in accordance with the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to enable students to acquire outstanding knowledge and skills of Clinical Psychology from both academic and practical aspects efficiently by systematically	In accordance with the diploma policy and the curriculum policy, the Clinical Psychology Major at the Graduate School of Psychology is open to admitting those who have the following knowledge and skills, the abilities of thinking, of judgement, and of expression as well as proactive attitudes. 1. Those who have acquired a wide range of specialized

1. Knowledge and Skills Those who have acquired professional skills, professional ethics and legal knowledge in the field of clinical psychology, and advanced standards of knowledge and skills involved in research and development in order to offer professional psychological assistance in the areas of psychological assessment, psychotherapy, and community assistance. 2. Abilities of Thinking, of Judgement, and of Expression. Students can contribute to society by providing practical solutions, arising from thinking with a broader perspective; communicating appropriately with others, and demonstrating the capabilities of “Think and Act.” 3. Proactive Attitude Students will take responsibility for their own learning and they will address unsolved issues in a proactive manner	configuring lectures and experiments and practicum. (2) The Graduate School configures its courses so as to promote professional ethics, self-development as well as professional knowledge, skills, and abilities for research, development and analysis in clinical psychology and promotes integrated abilities in the field of clinical psychology. (3) With small size seminars and practicums, personal attention will be paid to each student fostering an educational system conducive to the acquisition of advanced research skills, as well as professional knowledge and skills in clinical psychology. 2. Evaluation of Learning Achievements (1) Through a comprehensive system of evaluation combining course grades, individual evaluations by mentors, masters’ thesis appraisal, the acquisition of advanced knowledge, skills, critical thinking and judgement, expressiveness pertaining to the field of clinical psychology will be evaluated. (2) Proactive attitudes will be evaluated by the mentor and practicum instructors. (3) In Psychological Practicums I through V, full time faculty will consult with practicum instructors about achievement goals as well as review the self-evaluations of students, to establish a primary evaluation which will be discussed and agreed upon by all full-time practicum faculty to determine the final grades of each student.	knowledge in psychology during their undergraduate courses of study. 2. Those who have a sense of purpose to become practitioners or researchers/educators in the field of clinical psychology. 3. Those who are inclined to be capable of supporting people with psychological issues, or who are inclined to be promising researchers/educators in the field of clinical psychology.
---	--	---

< Ph. D. Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Psychology (Ph.D. Degree Program) awards a Doctorate Degree of Psychology to those who have obtained the prescribed number of credits of 12 or more and have completed the academic program by having passed thesis defense under appropriate research guidance, and have acquired the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, and a proactive attitudes: 1. Knowledge and Skills Those who have attained knowledge and skills required of researchers in pursuit of the fields of cognitive, developmental, social, application and clinical psychologies, and have demonstrated the ability to apply such knowledge and skills in areas including the following: local communities, households, educational institutions, corporate organizations and public services. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Those who approach issues from a global perspective, demonstrate the excellent capabilities of “Think and Act” while maintaining	The Graduate School of Psychology configures its curriculum based on the points listed below with the goal of enabling students to acquire the following knowledge and skills: critical thinking ability, decisiveness, expression, and proactive attitudes in accordance to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School aims to enable students to efficiently acquire outstanding knowledge and skills in both theory and practice of cognitive psychology by configuring lectures, experiments and practicum systematically. (2) The Graduate School arranges lectures and practicum to bestow high quality expertise in clinical psychology as well as knowledge education through skill and clinical practicum to nurture the power of self-growth and professional ethics as professionals of mind. Thus the Graduate School aims to foster professionals of clinical psychology with upstanding character through the provided high quality knowledge and skills. (3) From the second year students will be assigned to medical welfare, industry and career courses in order to acquire the knowledge and skills required for each specialized course. Furthermore, through collaborated clinical guidance practicum in small classes as well as clinical practicum at the facilities outside of the campus, students will have further chance to increase their	The Graduate School of Psychology widely accepts, through various entrance examinations, those who have graduated from the Master’s Degree Program and have a Major of Professional Clinical Psychology from the Graduate School of Psychology as well as graduates of master’s degree programs from other universities. Within these parameters, those who have research experience from various enterprises or organizations and international students, especially those from Asian countries or regions, who have the following knowledge and skills, abilities critical thinking, judgement, and expression as well as pragmatic attitudes in accordance with the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the specialized knowledge and skills gained through their undergraduate courses and master’s degree programs. 2. To have the ability to think independently from a global

smooth communication with their peers and contributing to the society through the exploration of fresh research capacities. 3. Proactive Attitudes Those who can take responsibility for their continued learning and deal with pressing societal issues in a proactive way in accordance with professional ethics.	knowledge. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The achievements of study will be evaluated based on clear criteria in accordance with the Graduate School guidelines. (2) Research subjects that are chosen by multiple students will be optimistically evaluated by the teachers in charge. (3) Subjects on clinical practicum will be evaluated through comprehension of the course contents, practical capabilities and mastery of guided matters.	perspective, the skills to smoothly communicate with their peers, and the desire to contribute to society through the capabilities of “Think and Act”. 3. To have a strong willingness to study proactively in a specialized academic field.
--	--	--

【 Graduate School of Societal Safety Sciences 】

<Master’s Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Societal Safety Sciences (the Master’s Degree Program) awards the master’s degree to those who have completed the prescribed curriculum and have acquired the following knowledge and skills, the ability to think, judge, and express themselves, and proactive attitudes: 1. Knowledge and Skills Students cannot only analyze the current situation in a multifaceted manner in order to create a safe and secure society, but also make use of high levels of expertise required for creating a new theory by inheriting and developing the existing ones. 2. Abilities of Thinking, Judgment, and Expression Students have practical and specialized abilities not only to assess the risk of disasters and accidents quantitatively from the viewpoint of natural science and engineering, but also to develop a method to assess the risk more comprehensively by qualitative assessment from the viewpoint of social sciences and propose and plan policies in order to achieve a safe and secure society with a high level of the “Think and Act” capabilities. 3. Proactive Attitudes Students can carefully observe a variety of information related to social safety studies to find issues and proactively cope with them to give solutions.	The Graduate School of Societal Safety Sciences configures systematically the curriculum based on the following points in order to enable students to acquire knowledge and skills, abilities of thinking, judgment, and expression, and proactive attitudes according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School configures its curriculum focused on acquiring a broad range of knowledge not only on their own specialized field but also on the whole field of societal safety science and systematizes the subjects under the three categories of Humanities System, Social System, and Science and Engineering System, respectively. (2) Students will acquire a high level of research ability, not only through guidance on their specialized field in seminars conducted by academic advisors, but also by receiving a variety of lectures and suggestions in selective subjects. (3) Students will acquire the skills to adequately understand, write, and express in more than one foreign language in addition to Japanese in seminars conducted by academic advisors (4) Interdisciplinary academic guidance is provided by one main teacher who is in charge and two vice-teachers in charge of different fields. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The “master thesis intermediate presentation meeting” is held every year. At this meeting, all students make an oral presentation in front of all full-time teachers for recognizing progress and contents of research on their master thesis. (2) All master theses are examined by a total of three examiners--one chief examiner and two sub-examiners--and students will submit their final version by reflecting the guidance of the examiners. (3) Oral examination and “master thesis presentation meeting” are held and students who have satisfied the evaluation criteria of the Graduate School are deemed qualified.	The Graduate School of Societal Safety Sciences accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgment, and expression, as well as proactive attitudes, and deserve to be graduate school students according to the Diploma Policy and the Curriculum Policy. 1. To have strong concerns for social safety and to have acquired specialized knowledge and skills in the field of societal safety sciences. 2. To be able to think independently about the problems of social safety from a global perspective, to access them from versatile viewpoints, such as law and political science, economics and business administration, sociology, psychology, physics, informatics, engineering science, labor and social medicine, and more, and to be able to contribute to society with their strong leadership. 3. To have a strong willingness to implement research proactively in order to solve the various problems of social safety.

< Ph. D. Degree Program >

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Societal Safety Sciences (the Ph.D. Degree Program) awards the Ph.D. degree to those who have completed the prescribed curriculum and have acquired the following knowledge and skills, capacities and abilities, as well as proactive attitudes: 1. Knowledge and skills Students cannot only analyze the current situation in a multifaceted manner in order to create a safe and secure society, but also have	The Graduate School of Societal Safety Sciences configures essential subjects systematically in the curriculum based on the following points in order to enable students to acquire knowledge and skills, capacities and abilities, as well as proactive attitudes according to the Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School configures its curriculum focused on fostering specialized researchers and highly-qualified professionals in the field of societal safety sciences and systematizes the	The Graduate School of Societal Safety Sciences accepts those who have the following knowledge and skills, capacities and abilities, proactive attitudes, and who deserve to be graduate school students according to the Diploma Policy and the Curriculum Policy. 1. To have strong concerns for the problems of social safety and to have acquired expertise and skills in the

outstanding expertise required for creating a new theory by inheriting and developing the existing ones. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students have autonomous research abilities in the field of societal safety science and can create theories and propose policies with outstanding capabilities of “Think and Act”. 3. Proactive Attitudes Students can carefully observe a variety of information related to societal safety studies to find issues and deal with them in a proactive manner to give solutions with high professional ethics.	subjects under the three categories of Humanities System, Social System, and Science and Engineering System, respectively. (2) Students will acquire an outstanding level of research ability, not only through guidance on their specialized field in seminars conducted by academic advisors, but also by receiving a variety of lectures and suggestions in selective subjects. (3) Students will acquire the skills to adequately understand, write, and express in more than one foreign language in addition to Japanese and also acquire the skills to communicate and make presentation in seminars conducted by academic advisors. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The “doctoral thesis intermediate presentation meeting” is held twice. At these meetings, all students make an oral presentation in front of all full-time teachers for recognizing progress and contents of research on their doctoral thesis. (2) All doctoral theses are examined by three examiners--one chief examiner and two sub-examiners--and students will submit their final version by reflecting the guidance of the examiners. (3) After the oral examination, students who have satisfied the evaluation criteria of the Graduate School are deemed qualified. (4) The substance of the doctoral thesis shall be presented and discussed at a public hearing.	field of societal safety sciences. 2. To be able to think independently about the problems of social safety from a global perspective, to access them from versatile viewpoints such as law and political science, economics and business administration, sociology, psychology, physics, informatics, engineering science, labor and social medicine, and more, and to be able to create a new academic field of societal safety science, and to contribute to society through the creation of new theories and policy proposals for disaster prevention and reduction. 3. To have a strong willingness to implement research proactively in order to solve the various problems of social safety.
---	--	--

【 Graduate School of East Asian Cultures 】

<Master’s Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of East Asian Cultures aims to cultivate researchers and highly qualified professionals who understand the formation, development and interrelations of East Asian cultures and have a broad range of knowledge and a high-level of research abilities. Thus, the School awards the master’s degree in Cultural Interaction Studies to those who have successfully acquired the following abilities as an embodiment of these objectives: 1. Knowledge and Skills A highly specialized knowledge of East Asian cultures and the ability to use this knowledge to participate in the intellectual activities of humankind. 2. Abilities of Thinking, Judgment, and Expression The ability to use the capabilities of “Think and Act” to discover, study, and solve problems regarding East Asian cultures from a comprehensive and interdisciplinary perspective. 3. Proactive Attitudes The ability to accurately introduce to others their deep understanding and highly specialized knowledge of East Asian cultures, and a willingness to make a contribution to the knowledge-based society.	Based on its Diploma Policy, the Graduate School of East Asian Cultures configures its curriculum to enable students to acquire knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as proactive attitudes. 1. Educational Contents: (1) The Graduate School arranges appropriate lectures and seminars to enable students to systematically acquire highly specialized knowledge and skills about East Asian cultural studies. (2) In seminars, students receive personal guidance from their advisors and acquire academic abilities required for specialists in East Asian cultural studies. (3) The Graduate School provides a wide range of general subjects to enable students to contextualize their research topics in modern East Asian cultural studies as a whole. (4) The Graduate School provides a set of subjects for students to develop the ability to transmit their academic achievements globally. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of the educational contents will be evaluated by the results of the master’s thesis review and academic achievement survey. (2) Research results will be recognized through presentations at scholarly meetings held on and off campus, and contributions and publications in academic journals.	According to the Diploma Policy and the Curriculum Policy, the Graduate School of East Asian Cultures accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgment, and expression, as well as proactive attitudes befitting the M.A. students: 1. To have basic knowledge of East Asian cultures at the B.A. level and abilities to produce his or her research results through oral presentations and written papers. 2. To be able to set his or her own research topics according to the research methods of East Asian cultural studies. 3. To have strong concerns for East Asian cultures and willingness to contribute to the development of knowledge-based society by exhibiting their expertise.

<Ph. D. Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of East Asian Cultures aims to cultivate researchers and highly qualified professionals who can understand the formation, development and interrelations of East Asia cultures and have rich expertise and high-level research abilities. Thus, the School awards the doctoral degree in Cultural Interaction Studies to those who have successfully acquired the following abilities as an embodiment of these objectives. 1. Knowledge and Skills A highly specialized knowledge of East Asian cultures, and the ability to produce new knowledge. 2. Abilities of Thinking, Judgment, and Expression The ability to use the capabilities of “Think and Act” to discover, study, and solve problems regarding East Asian cultures from a	Based on its Diploma Policy, the Graduate School of East Asian Cultures configures its curriculum to enable students to acquire knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as proactive attitudes. 1. Educational Contents: (1) The Graduate School arranges appropriate lectures and seminars to enable students to systematically acquire cutting-edge knowledge and skills about East Asian cultures. (2) In seminars, students receive careful personal guidance from their advisors and acquire the requisite academic abilities as an independent scholar in East Asian cultural studies. (3) The Graduate School provides a wide range of general subjects to enable students to raise questions about and contextualize their research themes in modern East Asian cultural studies as a whole. (4)The School provides a set of subjects for students to develop a high-level ability to transmit their academic achievements globally.	According to the Diploma Policy and the Curriculum Policy, the Graduate School of East Asian Cultures accepts those who have the following knowledge and skills, the abilities of thinking, judgment, and expression, as well as proactive attitudes befitting the Ph.D. students: 1. To have knowledge about specialized contents and research methods of East Asian cultures at the M.A. or its equivalent level, and abilities to produce appropriately and internationally his or her research results through oral presentations and written papers. 2. To be able to set and develop his or her own research themes according to the research methods of East Asian cultural studies.

comprehensive and interdisciplinary perspective, so as to produce highly valuable academic results. 3. Proactive Attitudes The ability to transmit high-level and creative academic knowledge based on a deep understanding and insights about East Asian cultures, and a demonstrated awareness of their role as specialists who lead the knowledge-based society.	2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of the educational contents will be evaluated by the results of Ph.D. dissertation review and academic achievement survey. (2) Research results will be recognized through presentations at scholarly meetings held on and off campus, contributions and publications in academic journals, and annual achievement reports.	3. To have strong concerns for advanced research on East Asian cultures, an awareness as an independent researcher, and a willingness to lead the development of knowledge-based society through the inheritance and creation of specialized knowledge.
--	--	--

【 Graduate School of Governance 】

<Master’s Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Governance (Master’s Degree Program) aims to cultivate highly-qualified human resources to play active role in public matters, that is, highly-qualified professionals and researchers who internationally and interdisciplinary bear education and research activities and put policies designed by themselves into practice, and also have abilities of finding out the issues accepted worldwide, and planning and evaluating policies, with high level of academic ethics, and thus awards master’s degree to those who have acquired the following knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves as well as a proactive attitude: 1. Knowledge and Skills Students have a sense of academic ethics as highly-qualified professionals and can put the policies designed by themselves into practice by using high grade expertise on governance for the solution of various issues facing the international society and advanced information society. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students have acquired abilities accepted worldwide to discover global or local issues, to plan policies for their solution and to evaluate them appropriately through the “Think and Act” based on practical communication ability, and also have acquired the ability of policy analysis along with basic ability required for academic research with an international perspective. 3. Proactive Attitude Students have willingness to deal with various unsolved issues of the modern society and to create new values with a leadership in a proactive manner based on intimate communication with others acquired in the undergraduate course.	The Graduate School of Governance (Master’s Degree Program) configures its curriculum based on the following points with a view to enabling students to acquire knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves as well as proactive attitudes according to Diploma Policy of the Graduate School: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School arranges systematically lectures and seminars in order for the students to use further practically their knowledge and skills acquired in their undergraduate course. Specifically, the Graduate School places jurisprudence, political science, administrative studies, economics and business administration under organically interlinked state, at the center of the program. (2) The Graduate School provides lecture subjects which are strictly selected to cover each field of social sciences in order for the students to acquire basics and method of policy analysis and also to get knowledge for adopting an interdisciplinary approach required for solution of public issues in local communities or international public issues according to concern of the students. (3) The Graduate School provides seminars in order for the students to acquire the ability to consider issues in a multifaceted manner. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of knowledge and skills will be evaluated comprehensively based on the screening including third-party evaluation of master’s thesis and research presentations at academic meetings, as well as on regular subject achievements. (2) The abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes to learn will be checked through guidance and evaluation of academic advisors.	The Graduate School of Governance (Master’s Degree Program) accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression as well as proactive attitudes as the students according to the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the background knowledge of the problems of global and advanced information societies and to have the basic knowledge of the undergraduate course about any field of social sciences such as jurisprudence, political sciences, economics and business administration, or natural sciences such as urban engineering, environmental studies and statistics because the subjects and methods of policy studies require characteristically interdisciplinary and diversified approaches. 2. To have the basic capabilities of “Think and Act” and the basic abilities for problem finding, policy designing and proper assessment, as well as logical thinking and expression. 3. To have basic communication skills and also have strong willingness to solve both global and regional problems.

<Ph. D. Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Governance (Ph.D. Degree Program) aims not only to cultivate highly-qualified professionals for public matters, but also autonomous researchers who can contribute to both domestic and global societies by making the best of demonstrating their knowledge	The Graduate School of Governance (Ph.D. Degree Program) configures its curriculum of the doctor’s degree program based on the following points with a view to enabling students to acquire knowledge and skills, dispositions and abilities as well as attitudes according to the Diploma Policy of the Graduate School.	The Graduate School of Governance (Ph.D. Degree Program) accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression as well as proactive attitudes as the students according to

and skills with high level of the capabilities of “Think and Act”, and thus awards the doctor’s degree to those who have acquired the following knowledge and skills, dispositions and abilities as well as attitude: 1. Knowledge and Skills Students have high level of ethics as highly-qualified professionals and abilities accepted worldwide to find out issues and to plan and assess policies appropriately, according to the capabilities of “Think and Act”, and also have the abilities to put the policies designed by themselves into practice on the local or global fields. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students have acquired abilities accepted worldwide to find out global or local issues and to plan and assess policies to solve and to assess them appropriately, according to the capabilities of “Think and Act” based on practical communication skills, and also have acquired knowledge for policy analysis and international trends and basic abilities and international perspective required for research activities. 3. Proactive Attitudes Students can create actively a framework for value creating through an international network in addition to dealing willingly with various unsolved issues of the modern society through their expertise and creating in a proactive manner new values with a leadership based on the intimate communication abilities acquired in the master’s degree program.	1. Educational Contents: (1) The Graduate School systematically configures lectures and seminars in order for the students to use further practically their knowledge and skills acquired in their master’s program. Specifically, the Graduate School places jurisprudence, political science, administrative studies, economics and business administration under organically interlinked state, at the center of program. (2) As for lecture subjects group which are strict selected to cover each field of social sciences, the Graduate School designs for students to acquire basics and method of policy analysis and also to get knowledge required for adopting an interdisciplinary approach which is needed to solve local or international public issues according to concern of the students. (3) The Graduate School provides seminars in order for the students to acquire the ability to consider issues in a multifaceted manner. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of knowledge and skills will be evaluated comprehensively based on the screening including third-party evaluation of doctor’s thesis research presentations at academic meetings, as well as on regular subject achievements. (2) The abilities of thinking, judgement, and expression, and proactive attitudes to learn will be checked through guidance and evaluation of academic advisors.	the Diploma Policy and the Curriculum Policy of the Graduate School: 1. To have the background knowledge of the problems of global and advanced information societies and to have the basic knowledge of the master’s degree program about any field of social sciences such as jurisprudence, political sciences, economics and business administration, or natural sciences such as urban engineering, environmental studies and statistics as the subjects and methods of policy studies require characteristically interdisciplinary and diversified approaches. 2. To have the basic capabilities of “Think and Act” and the basic abilities for problem finding, policy designing and proper assessment, as well as logical thinking and expression. 3. To have basic communication skills and also have strong willingness to solve both global and regional problems.
---	--	---

【 Graduate School of Health and Well-being 】

<Master’s Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Health and Well-being (Master’s Degree Program) cultivates health and exercise instructors and also physical education and sports instructors as highly-qualified professionals, and provides basic education for researchers who promote human health and well-being from an interdisciplinary and practical perspective. Thus, the Graduate School awards the master’s degree (Health and Well-being) to those who have completed the prescribed curriculum and acquired the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression ,as well as a proactive attitudes: 1. Knowledge and Skills Students have acquired high-levels of knowledge and skills required for playing an active role as researchers or highly-qualified professionals related to human health and well-being and can make full and practical use of them. 2. Abilities of Thinking, Judgement, and Expression Students can think autonomously from a global perspective and contribute to society by demonstrating the capabilities of “Think and Act”, recommended by the University, while keeping an interactive communication with others. 3. Proactive Attitudes Students have willingness and ability to deal with unresolved issues in a proactive manner, while always recognizing the needs of the times, in accordance with a high sense of professional ethics.	The Graduate School of Health and Well-being (Master’s Degree Program) cultivates health and exercise instructors and also physical education and sports instructors as highly-qualified professionals, and provides basic education for researchers who promotes human health and well-being from an interdisciplinary and practical perspective. The Graduate School configures its curriculum based on the following points with a view to enabling students to acquire knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as proactive attitudes for the master’s degree: 1. Educational Contents: (1) The Graduate School offers opportunities to learn basic skills required for research through Basic Subjects which consist of Study of Health and Well-being and Methods of Health Research, and to acquire academic ethics required for research activities. (2) In Exercise Subjects, the Graduate School arranges education system whereby each student can receive elaborate guidance from academic advisor and acquire abilities of logical and critical thinking, and thus acquire high-level of research activities. In Specialized Subjects linked with Exercise Subjects, students can acquire basic knowledge relating academic fields. (3) In Practice Subjects students acquire the ability to apply the acquired knowledge to practical issues and to contribute to society by conducting education and research in coordination with outside facilities and local governments. (4) The Graduate School invites instructors with a career in their subject areas and helps cultivate highly-qualified professionals in the related areas. Subjects required for the acquisition of a teacher’s license (Health and Physical Education) for junior high schools and high schools are also provided. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of the educational content will be evaluated comprehensively the results of the master’s thesis and presentation in academic conference along with usual class evaluations. (2) The abilities of thinking, judgement and expression as well as proactive attitudes to learn will be measured by guidance and evaluation of academic advisors.	The Graduate School of Health and Well-being cultivates health and exercise instructors and also physical education and sports instructors as highly-qualified professionals, and provides basic education for human health and well-being researchers with an interdisciplinary and practical perspective. Thus the Graduate School accepts through a variety of entrance examinations those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, as well as proactive attitudes: 1. as for the graduates from the undergraduate course of the Faculty, to have acquired expertise of the specialized area in the undergraduate course. as for the other students, to have basic knowledge required for the promotion of health and well-being. 2. To have abilities to think autonomously from a global perspective through studies of the undergraduate course or social experiences equivalent to them, and to have willingness to contribute to society by demonstrating the capabilities of “Think and Act”, or comprehensive abilities of judgement and activities recommended by the University, while keeping an interactive communication with others. 3. To be always conscious of the needs of the times and to have willingness and dispositions to proactively study academic fields on health and well-being.

<Ph. D. Degree Program>

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Health and Well-being (Ph.D. Degree Program) cultivates human resources who have high-levels of abilities required for autonomous research activities as researchers in the fields of physical education and sport science, health science, pedagogy,	The Graduate School of Health and Well-being (Ph.D. Degree Program) cultivates human resources who have high-level of ability required for autonomous research activities as researchers in the fields of physical education and sports science, health science, pedagogy, sociology, study of social welfare, cultural anthropology and other related academic fields, and who have the ability to analyze and	The Graduate School of Health and Well-being (Ph.D. Degree Program) aims to cultivate researchers who are capable of promoting human health and well-being from the perspective of “being healthy truly required for

sociology, study of social welfare, cultural anthropology and related specialty fields and who have the ability to analyze and solve issues to make use of research results for the promotion of human health and well-being. The Graduate School awards the doctor’s degree (Health and Well-being) to those who have completed the prescribed curriculum and acquired the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression, as well as a proactive attitude. 1. Students have acquired outstanding knowledge and skills required for playing an active role as researchers or highly-qualified professionals to promote health and well-being and can make use of them in a practical manner. 2. Students can think autonomously from a global perspective and contribute to society by specifically grasping regional issues and demonstrating higher levels of the “Think and Act”, capabilities recommended by the University, while keeping an interactive communication with others. 3. Students have abilities of recognizing the needs of the times and are capable of demonstrating the willingness and dispositions to proactively deal with unresolved issues, in accordance with a high sense of professional ethics.	solve issues and make use of research results for the promotion of human health and well-being. The Graduate School configures its curriculum based on the following points with a view to enabling students to acquire knowledge and skills, abilities to think, judge and express themselves, as well as proactive attitudes appropriate for the doctor’s degree. 1. Educational Contents: (1) The Graduate School provides academic advisors in order to foster human resources who have a broad interdisciplinary perspective and at the same time will be accepted as a professional of each academic field through manifold guidance. If necessary, plural advisors may be offered to one student. Under hospitable guidance system, the Graduate School also provides opportunities for the students to cultivate the ability of critical thinking required for research activities along with academic ethics as researchers through Exercise Subjects and other subjects. (2) The Graduate School provides lecture subjects in which the plural teachers take up and teach one specified social issue interdisciplinary beyond their academic fields, and thus the students can study the specific route for returning the research results back to society. (3) The Graduate School offers Problem-solution Project for students to become highly-qualified professional with doctor’s degree, and thus they can tackle actually issues for a certain period of time in the sites appropriate for their research interests and gain experiences to contribute to society. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) The levels of acquisition of knowledge and skills will be evaluated comprehensively the results of doctor’s thesis, pre-doctoral papers, and presentation in academic conference, along with usual evaluations. (2) The abilities of thinking, judgement and expression as well as a proactive attitude to learn which the students should acquire in the Graduate School will be measured by guidance and evaluation of academic advisors.	people” and highly-qualified professionals who can contribute to realization of health or sports promotion. Thus the Graduate School provides general and adult entrance examinations and accepts those who have the following knowledge and skills, abilities of thinking, judgement, and expression as well as proactive attitudes as the students of Ph.D. Degree Program: 1. As for students from the Graduates School (Master’s Degree Program), to have acquired expertise of the specialized academic field in the master’s degree program. As for the other students, to have knowledge required for the promotion of health and well-being equivalent level of students with the master’s degree; 2. to have abilities of autonomous thinking from a global perspective through studies in the master’s degree program or social experiences equivalent to them and to have the willingness to contribute to society by understanding regional issues and demonstrating the capabilities of “Think and Act”, or comprehensive abilities of judgement and activities recommended by the University, while keeping an interactive communication with others. 3. To be always conscious of the needs of the times and have willingness and dispositions to proactively study academic areas related to health and well-being with high-levels of professional ethics.
--	---	---

【 School of Law 】

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
In accordance with the educational philosophy of the Law School, the Law School (Professional Degree Program) awards a Juris Doctor to those who possess advanced specialized knowledge, and have acquired abilities suitable for becoming legal professionals with a strong sense of ethical responsibility. Specifically, the requirements for receiving this degree are that students must have been enrolled for at least the prescribed period. In addition, students would have completed their education following the curriculum, which has been established in light of the Law School's educational philosophy. Moreover, students should have completed a number of credits specified by the Law School, including specified credits in the following courses: Legal Basic Course, Legal Practical Basic Course, Applied/Advanced Course and Legal Basic/Adjacent Course. In addition, in order to better achieve our educational philosophy, the requirements for advancement stipulate that each academic year, in addition to acquiring the designated number of required credits, students must also meet the GPA standards for compulsory subjects.	The Law School (Professional Degree Program) offers the following distinctive curriculum to achieve its educational philosophy of developing legal professionals with three important qualities: (1) a balance of theory and practice, (2) an excellent sense of human rights, and (3) the creativity to address new issues. First, the Law School provides a legal basic course which is not limited to abstract theoretical education, but constantly gives consideration to systematic learning based on examples, and are intended to offer a full range of practical subjects for training legal professionals while also being aware of building bridges to practical education. Second, the Law School provides a legal practical basic course such as legal ethics and legal clinics with the aim of cultivating professional ethical standards, human understanding and sound judgement. Third, the Law School provides advanced subjects of law with “Lecture 1” offered as an introductory course for many subjects, enabling students to study a wide variety of advanced legal fields. “Lecture 2” (and a possible further “Lecture 3” depending on the subject) and practical exercises are offered to enable students to obtain deeper specialized knowledge in applicable legal fields. Fourth, in order to acquire knowledge about international law and foster international perspectives, the Law School provides lectures and practical exercise subjects by instructors who are also lawyers specializing in Chinese business law, and focus on topics and practical matters related to international contracts. In addition, the Law School also provides lectures on English for business law, and practical exercise subjects focused on international legal relations. Overseas externships are also conducted with cooperation from the Japan International Cooperation Agency (JICA). Fifth, in order to develop broad insights into new legal issues, the Law School also provides interdisciplinary subjects such as special lectures of contemporary legal issues (individual themes) and subjects related to law and society.	The Graduate School of Law, whose predecessor was Kansai Law School, advocates the professional education and development of law students. In order to achieve the educational philosophy of "GAKU-NO-JITSUGE" (or Harmony between Academia and Society, and between Theory and Practice), through the social practice of law, students: (1) achieve a balance between theory and practical ability, (2) develop an excellent sense of human rights supported by a broad range of study and professional knowledge, and (3) attain the creativity to address new issues arising in our increasingly complicated and diversified modern society. Based on this philosophy, our admissions selection process reviews whether applicants have acquired sufficient education and professional knowledge through undergraduate education, and whether they have the basic abilities for development into legal professionals (the abilities to read and comprehend, to analyze, and to express themselves in writing). Prior to enrollment, students who wish to study graduate courses and have acquired legal knowledge will be screened. This screening will determine the students' fundamental knowledge and abilities related to basic legal subjects, in addition to the above requirements. Furthermore, in order to ensure openness and diversity, an entrance examination system has been established in which examinations are conducted with an emphasis on experience as a member of society.

【 School of Accountancy 】

Diploma Policy	Curriculum Policy	Admission Policy
The Graduate School of Accountancy (Professional Degree Program) awards the Master of Business Administration (MBA) in Accountancy to those who meet international standards and are proficient in theories and practices of accountancy. 1. Knowledge and Skills Students are proficient in theories and practices required for professionals of accountancy, have acquired professional ethics and rich sense of accountancy as well as sophisticated abilities to judge and think, and can make full use of them. 2. Abilities of Thinking, Judgement and Expression Students can respond to the needs of the society by demonstrating the capabilities of “Think and Act” as professionals of accountancy with wholesome mind, and play a leading role in the fields of auditing, industry and public agencies. 3. Proactive Attitudes Students are well informed of the internationalization and IT field, and can play an active role as professionals of accountancy with highly advanced abilities in finance, law, tax and management.	The Graduate School of Accountancy (Professional Degree Program) configures its curriculum based on the following points with a view to enabling students to become proficient in theories and practices required for professionals of accountancy, and acquire professional ethics, rich sense of accountancy as well as sophisticated abilities to judge and think. 1. Educational Contents: (1) The Graduate School configures its curriculum in order for students (1) to become highly proficient in theories and practices satisfied with international standards and (2) to develop professional ethics for public interests, as its basic policy that is to place accounting and auditing in the center and show the career support to select their career from a wide variety of options. (2) The Graduate School provides horizontally Introductory Subject Group to prepare before receiving professional education, Basic Subject Group to acquire minimally required knowledge for professionals, Development Subject Group to deepen the basic subjects to develop into the related academic fields, and Application and Practice Subject Group to acquire the abilities for professionals of accountancy immediately applicable in the economic society. The Graduate School also provides vertically Financial Accounting, Management Accounting, Auditing, Law and Tax, and Business and Economics. (3) The Graduate School provides Transversal Subjects such as personal seminar for the learning guidance and the career planning to each student, and for the guidance on thesis preparation for research oriented students. 2. Evaluation of Learning Achievements: (1) Learning achievements will be evaluated objectively and strictly through accurately reflecting the competence of students based on the defined evaluation criteria. (2) Learning achievements will be evaluated comprehensively by the results of presentation and discussions besides the written and/or report examinations, and the evaluation criteria are set strictly based on the absolute or relative scales corresponding to the characteristics of each subject. (3) Abilities of thinking, judgement and expression, summarized as the “Think and Act” capabilities, will be evaluated by tallying up the results of the University’s Competency Research in Student Assessment. (4) Proactive attitudes to learn will be evaluated by tallying up the results of various student assessment researches.	The Graduate School of Accountancy (Professional Degree Program) aims to foster accountants who meet international standards and are proficient in theories and practices, and accepts through various entrance examinations those who have the competence and motivation to receive advanced education of accountancy. 1. For the above purpose, the Graduate School mainly accepts advanced students who have knowledge and skills of bookkeeping and accounting, and also accepts beginners with an excellent sense of accounting. 2. The Graduate School implements the general entrance examination, the transfer admission examination within the University, and the recommendation examination for undergraduates of the designated universities, and also implements the entrance examinations for international students, people with the qualification, and working adults from the viewpoint of widely accepting various talented people internationally and socially. 3. The Graduate School accepts students who have received professional education of accountancy, not only through the written examination to check basic knowledge of accounting such as bookkeeping and cost accounting, but also through the oral examination added with an essay or document screening.